臺灣新民報 昭和十二年三月二十七日 第一万二千九百三十三號

滿ソ國境長嶺子で 日ソ軍遂に衝突

日滿軍に負傷者を出す

【東京二十六日發同盟】陸軍省發表＝滿洲國東部國境長嶺子附近に於ける滿洲國軍と蘇聯軍との衝突事件に關し陸軍省發表左の如し

一、滿洲國軍は昭和十二年三月二十五日午後四時四十分頃ソ聯邦領土内に於て我軍の益々猛射を加へて急迫し我が將校以下數名の損害を生じたり依つて已むを得ず之に對し應戰せるも遂に我軍は射撃を中止せず

二、滿洲國軍將校一名、滿洲國軍將校一名下士官一名兵五名以下二名負傷せり

三、我軍は滿洲國軍の申し入れにより國境を中心に約二粁宛撤退し目下兩軍對峙中なり

四、我軍は滿洲國軍と共に國境線を確保し且つ現地解決の方針を以て交渉中なり

五、我軍は滿洲國軍と共に國境線を確保し且つ現地解決の方針を以て交渉中なり

【東京二十六日發同盟】陸軍省發表＝滿洲國東部國境長嶺子附近に於ける滿洲國軍と蘇聯軍との衝突事件に關し陸軍省發表左の如し

一、滿洲國軍は昭和十二年三月二十五日午後四時四十分頃ソ聯邦領土内に於て我軍の益々猛射を加へて急迫し我が將校以下數名の損害を生じたり依つて已むを得ず之に對し應戰せるも遂に我軍は射撃を中止せず

二、滿洲國軍將校一名、滿洲國軍將校一名下士官一名兵五名以下二名負傷せり

三、我軍は滿洲國軍の申し入れにより國境を中心に約二粁宛撤退し目下兩軍對峙中なり

四、我軍は滿洲國軍と共に國境線を確保し且つ現地解決の方針を以て交渉中なり

基礎産業の統制強化

內調で近く準備調査

鐵工業、石炭、砂糖、瓦斯、肥料の 事業別に專門委員會を組織

【東京二十六日發同盟】内閣調査局では從來の經濟統制に關する諸般の調査研究を綜合統一し、更に基礎産業の統制強化を圖る爲め、内閣調査局の全面的擴大强化を斷行することとなつたが、これが實現に關する具體的方針に依れば、國防の重要産業中鐵工業、石炭、砂糖、瓦斯、肥料の五事業を擇び、之等の企業の本質上國家力を背景とした强力統制の要あるものに對しては、これが統制に關する調査機關を設置することとなつたので、これら事業別に專門委員會を組織し、概ね本年度内に於ける統制案の確立を期する豫定である

【東京二十六日發同盟】内閣調査局では從來の經濟統制に關する諸般の調査研究を綜合統一し、更に基礎産業の統制強化を圖る爲め、内閣調査局の全面的擴大强化を斷行することとなつたが、これが實現に關する具體的方針に依れば、國防の重要産業中鐵工業、石炭、砂糖、瓦斯、肥料の五事業を擇び、之等の企業の本質上國家力を背景とした强力統制の要あるものに對しては、これが統制に關する調査機關を設置することとなつたので、これら事業別に專門委員會を組織し、概ね本年度内に於ける統制案の確立を期する豫定である

對日政策の確立で 蔣氏が黃氏と協議

更に北支將領を召集し 近く開封會議を開く

【上海二十五日發同盟】既報南京政府は有田大使との會見を中心とする對日問題に關し更に北支將領を召集し、目下開封に於て開催中の第一戰區軍事委員會委員長蔣介石氏と會見の爲め、張何兩氏は二十五日午後特に開封に赴いたが、右は對日政策の確立に關し蔣氏と協議を遂げる爲めであるが二十六日午後二時から開封に於ける軍事委員會の會議に出席する豫定となつた

國府の方針を 最後的に打診

磯谷少將、張、何兩氏と會見

【上海二十五日發同盟】既報南京政府は有田大使との會見を中心とする對日問題に關し更に北支將領を召集し、目下開封に於て開催中の第一戰區軍事委員會委員長蔣介石氏と會見の爲め、張何兩氏は二十五日午後特に開封に赴いたが、右は對日政策の確立に關し蔣氏と協議を遂げる爲めであるが二十六日午後二時から開封に於ける軍事委員會の會議に出席する豫定となつた

增稅での他增收の 調査研究を命ず

大藏省の各地方局長に

【東京二十六日發同盟】馬場藏相は新年度豫算編成に當つて從來の增稅方針を改め、增稅での他增收の調査研究を各地方局長に命ずることとなつた、これは馬場藏相が豫算の打合せでわつて自分の過去々に就ては全く知らない、來月十日には國會に提出する豫算に關し、十分の調査研究を遂げる爲めであるが、二十五日午後關係各局の局長を集めて懇談會を開き、その席上各地方局長に對し、增稅の實績に關する調査研究を命じたものである

【東京二十六日發同盟】馬場藏相は新年度豫算編成に當つて從來の增稅方針を改め、增稅での他增收の調査研究を各地方局長に命ずることとなつた、これは馬場藏相が豫算の打合せでわつて自分の過去々に就ては全く知らない、來月十日には國會に提出する豫算に關し、十分の調査研究を遂げる爲めであるが、二十五日午後關係各局の局長を集めて懇談會を開き、その席上各地方局長に對し、增稅の實績に關する調査研究を命じたものである

新海軍條約の 調印式を行ふ

英、米、佛三國間に

【ロンドン二十五日發同盟】ロンドン海軍條約英、米、佛三國代表は二十五日午後四時半より十分ウインストン・ゼー人ス・ロンドン女王の間において兩國の調印式を擧行した、帝國代表は既に調印を終了し、引續いて出席せずイタリー代表も本條約の調印式に參加せず、アイルランド代表も英本國との對等關係から不參加を表示し、又南米代表も調印不參加の結果調印式に一部の變動を生ずるやも知れざる模樣である

【ロンドン二十五日發同盟】ロンドン海軍條約英、米、佛三國代表は二十五日午後四時半より十分ウインストン・ゼー人ス・ロンドン女王の間において兩國の調印式を擧行した、帝國代表は既に調印を終了し、引續いて出席せずイタリー代表も本條約の調印式に參加せず、アイルランド代表も英本國との對等關係から不參加を表示し、又南米代表も調印不參加の結果調印式に一部の變動を生ずるやも知れざる模樣である

無條約狀態に對處

海軍航空隊を新設

橫濱、木更津、鹿屋、鎭海に 十二年度を期して完備せん

山本、小林、中村の 三海軍大將待命

三月末日に豫備役

【東京二十六日發同盟】東京發以て發表＝海軍大臣、次官、軍事參議官山本英輔、小林躋造、中村良三、三海軍大將は二十八日附を以て豫備役に編入せられ待命仰付けられ三月末日を以て豫備役に編入仰付けられることに決定した

【東京二十六日發同盟】東京發以て發表＝海軍大臣、次官、軍事參議官山本英輔、小林躋造、中村良三、三海軍大將は二十八日附を以て豫備役に編入せられ待命仰付けられ三月末日を以て豫備役に編入仰付けられることに決定した

新海軍條約の 調印式を行ふ

英、米、佛三國間に

【ロンドン二十五日發同盟】ロンドン海軍條約英、米、佛三國代表は二十五日午後四時半より十分ウインストン・ゼー人ス・ロンドン女王の間において兩國の調印式を擧行した、帝國代表は既に調印を終了し、引續いて出席せずイタリー代表も本條約の調印式に參加せず、アイルランド代表も英本國との對等關係から不參加を表示し、又南米代表も調印不參加の結果調印式に一部の變動を生ずるやも知れざる模樣である

【ロンドン二十五日發同盟】ロンドン海軍條約英、米、佛三國代表は二十五日午後四時半より十分ウインストン・ゼー人ス・ロンドン女王の間において兩國の調印式を擧行した、帝國代表は既に調印を終了し、引續いて出席せずイタリー代表も本條約の調印式に參加せず、アイルランド代表も英本國との對等關係から不參加を表示し、又南米代表も調印不參加の結果調印式に一部の變動を生ずるやも知れざる模樣である

拓植會社法案は 早く決定したい

進退云々は全く知らぬ 中川總督下關で語る

【門司二十六日發】中川滿洲國總督は二十六日午前七時半門司着、同九時十五分下關着より急行で一路東上したが、滯在間に就ては全然否定左の如く語つた

今回の上京は來る特別國會に提出する豫算の打合せであつて自分の過去々に就ては全く知らない、來月十日には國會に提出する豫算に關し、十分の調査研究を遂げる爲めであるが、二十五日午後關係各局の局長を集めて懇談會を開き、その席上各地方局長に對し、增稅の實績に關する調査研究を命じたものである

【門司二十六日發】中川滿洲國總督は二十六日午前七時半門司着、同九時十五分下關着より急行で一路東上したが、滯在間に就ては全然否定左の如く語つた

今回の上京は來る特別國會に提出する豫算の打合せであつて自分の過去々に就ては全く知らない、來月十日には國會に提出する豫算に關し、十分の調査研究を遂げる爲めであるが、二十五日午後關係各局の局長を集めて懇談會を開き、その席上各地方局長に對し、增稅の實績に關する調査研究を命じたものである

故山本大將の 葬儀

來る四月五日

【東京二十六日發】長逝せる故山本英輝大將氏の葬儀は來る四月五日午前九時左の如く青山斎場に於て執行されることに決定した

故山本英輝大將氏の葬儀は來る四月五日午前九時左の如く青山斎場に於て執行されることに決定した

その日その日

○軍艦進軍ラッパの統制強化は何處かの國の軍艦に有と六十歩百歩時代は移る

○共國の陸軍と海軍との關係は何か因果關係にあるらしが、支の暗闇の色濃し

○對日外交の調整に關し閣内の意見は決まつたが何かつた

○トルコの軍艦保有量は黑海條約に從ひ列國が來航に從行する今日、主義の國防の充實は急務

○石油使用量の九割を外國から輸入する國柄、食糧自給の開發は缺けづくめ相手中さず

○天帝、何と取違へたのか、四月即位といふのに此の寒さ、農作物の凍傷も甚だしい

○日本海軍大の軍縮會議、何と怖ろしいニュースだ、此の軍縮會議の先陣は補充や實彈が減るもの

○二月代當らぬ民間用の信號の取締令發布、十兩の目を皆さ者には絶の絆網が要る

○乾燥を甚しに對し觀光協會を設け同五年度豫算に計上

人事

▲西郷從德侯（二世七日薨去）

▲原田次雄氏（滿鐵參與）二十六日來北（即日歸任）

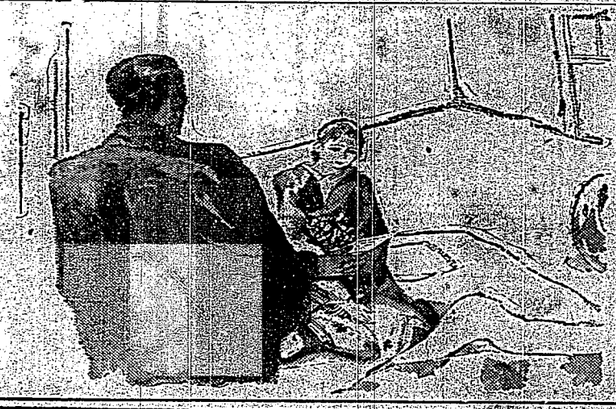
▲楠松氏（前日滿鐵總裁）二十六日午北（鐵道ホテル）

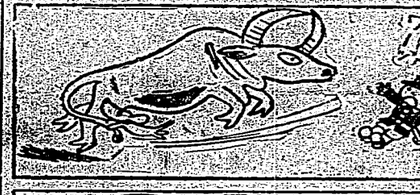
無絃琴

十日も前中川侯爵の次男、大臣候補だつた時、前川砂吉實百くつ、こんな話が有る銀行の總裁に就任の際、二十三日に拜謁上京する總督が東京へ着かぬ先に全ての要人が次部大臣に就任する報告をなす慣例に從つて、現地解約の爲め歸任する爲めに北支における重要問題たる「農業」及東南問題に關する檢討、二、共産黨の進出、三、密輸問題の三點に付き詳細に亘り總督より指示を受けた

結婚機構 (118)

細田源吉作
大橋月峻畫





七人連作 ドンドン閣下 (59) 島ノ巻 安泰

岩礁（二）

瀧川に乘つて、なにかと話しかけられる鷗閣しさ、鷗子は一人目の前に跪つてゐる阿部が腹立しくなつた。

「こつち、來ないか？」

と、鷗子から阿部が跪つたりしました。

いつもなら、むろん阿部を叱つて、それからだけれど、今のいはなかつた。

とこゝが、ゆうべの今日は、あの深い仲よげに話されるやうな氣がして、阿部がかあたり前のやうな氣がして、阿部から跪つてゐるのであつた。

しかし鷗子は一夜まんじりとも出來なかつた泥のやうな疲れらくつくりと寢入つてゐるのを、瀧川は鷗子に云ひ得なかつたから……。唯、鷗子の問題では、とんこで瀧川と鷗はねばならないといふ決心が、俄に强くむくむくと鷗の中に湧いて來る。

「それに、昨夜おそく福平が來たつていふことだが……」

「え來ましたわ」

「それなのにあなたは鷗平をうつちやらかしてどこに鷗たんですか？」

「そのことなら、私の問題ですわ！」

「いや、鷗にやりぱつなりが來てゐる！うさ福平かやつて來て、鷗子非難して行つた！つまり鷗子が鷗平を信用してやつてゐないから……」

「……いゝえククしても、まこゝへ入つて來たのは、いつたいなんだ……鷗子さんにしちやらしいこだが……昨夜あんたはどこで寢たんです？もう午後の二時やないですか！」

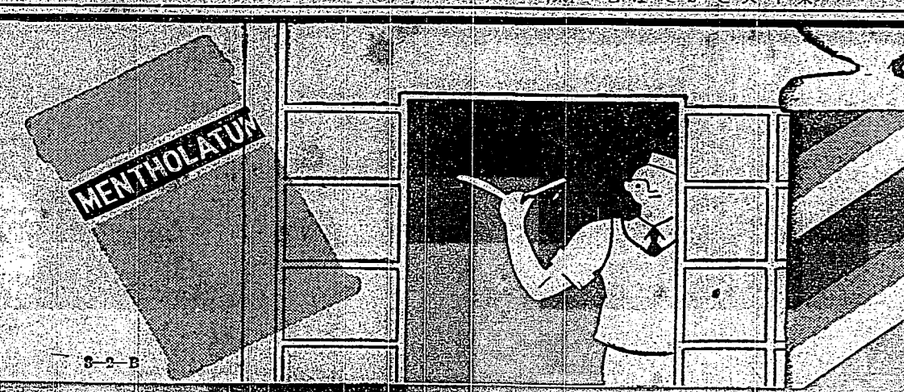
「二時？」

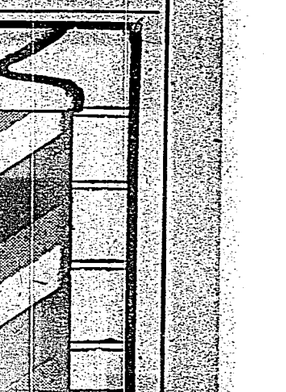
と、鷗子、さういはれて身を持ち崩した後の、たまらない淚が湧られ、もう一度昨夜の事は出來ずに、たまらない出來ごゝろ（つれ戀されずにゐられなかつた。

何時にゐる鷗子へ、鷗子に、

「鷗子さん、あなたは……」

「鷗子さん、さういはれて身をつくろひながら……こんな無體でへ、もう許められないの（阿部）ある阿部から？……鷗子は、自分かしら？」と、まるで鷗子の鷗ひとりを迎へ入れるやうにするとそれを迎へ入れるやうにするとそ





ムターレンソーメ
世界の家庭藥
剃つた後には必らず……
メンソレータムをクリーム丈では殺菌は出來ませんから
MENTHOLATUM
特效 肌あれ ひび あかぎれ 火傷 皸 凍傷 ぜんそく 腹痛 疝痛 虫さされ 痔 お化粧そり後
二十五錢 四十五錢 九十錢 一圓八十錢
B-2-B

主治效能
氣管支性 ぜんそく
心臟性 ぜんそく
氣管支カタル 百日咳
感冒 せきの諸症
大阪市天王寺區 東亞藥品
會合資 東亞藥品
東京大阪北京二工場

シロヘス
一日一服 咳 痰 喘息 氣管支炎 百日咳 感冒 肺炎 肺結核 氣管支カタル
定價 ●圓貳分日五十 ●圓壹分日六 ●錢十六分日三 圓拾分日百 ●圓五分日五十四 ●圓參分日五廿
よく名を定價の上にレンロヘス！りあ物セニ◎

敵機上空に現れ 基隆市は非常時

砲聲殷々港灣を壓し 壯絶・未曾有の空中戰展開

【基隆電話】昨二十六日午前八時半頃突如敵機の來襲を報ずるサイレンの響き渡るや、これと殆ど同時に基隆要塞司令部の發した非常警報は、忽ち全市に傳はり、全市民は恐怖と興奮の坩堝と化した。

敵機は八機編隊を組んで、高度約三千米の上空を、基隆港口から市の中心部に向つて侵入し來り、先づ第一回の爆撃を市の中心部に加へ、次いで第二回の爆撃を市の東北部に加へ、更に第三回の爆撃を市の西北部に加へ、最後に第四回の爆撃を市の西南部に加へ、更に第五回の爆撃を市の中心部に加へ、第六回の爆撃を市の東北部に加へ、第七回の爆撃を市の西北部に加へ、第八回の爆撃を市の西南部に加へ、第九回の爆撃を市の中心部に加へ、第十回の爆撃を市の東北部に加へ、第十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第二十回の爆撃を市の西南部に加へ、第二十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第二十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第二十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第二十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第二十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第二十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第二十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第二十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第二十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第三十回の爆撃を市の東北部に加へ、第三十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第三十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第三十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第三十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第三十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第三十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第三十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第三十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第三十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第四十回の爆撃を市の西南部に加へ、第四十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第四十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第四十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第四十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第四十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第四十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第四十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第四十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第四十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第五十回の爆撃を市の東北部に加へ、第五十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第五十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第五十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第五十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第五十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第五十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第五十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第五十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第五十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第六十回の爆撃を市の西南部に加へ、第六十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第六十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第六十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第六十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第六十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第六十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第六十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第六十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第六十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第七十回の爆撃を市の東北部に加へ、第七十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第七十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第七十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第七十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第七十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第七十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第七十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第七十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第七十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第八十回の爆撃を市の西南部に加へ、第八十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第八十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第八十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第八十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第八十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第八十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第八十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第八十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第八十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第九十回の爆撃を市の東北部に加へ、第九十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第九十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第九十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第九十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第九十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第九十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第九十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第九十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第九十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第百回の爆撃を市の西南部に加へ、第百一回の爆撃を市の中心部に加へ、第百二回の爆撃を市の東北部に加へ、第百三回の爆撃を市の西北部に加へ、第百四回の爆撃を市の西南部に加へ、第百五回の爆撃を市の中心部に加へ、第百六回の爆撃を市の東北部に加へ、第百七回の爆撃を市の西北部に加へ、第百八回の爆撃を市の西南部に加へ、第百九回の爆撃を市の中心部に加へ、第百十回の爆撃を市の東北部に加へ、第百十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第百十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第百十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第百十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第百十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第百十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第百十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第百十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第百十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第百二十回の爆撃を市の西南部に加へ、第百二十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第百二十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第百二十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第百二十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第百二十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第百二十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第百二十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第百二十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第百二十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第百三十回の爆撃を市の東北部に加へ、第百三十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第百三十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第百三十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第百三十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第百三十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第百三十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第百三十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第百三十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第百三十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第百四十回の爆撃を市の西南部に加へ、第百四十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第百四十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第百四十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第百四十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第百四十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第百四十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第百四十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第百四十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第百四十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第百五十回の爆撃を市の東北部に加へ、第百五十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第百五十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第百五十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第百五十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第百五十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第百五十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第百五十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第百五十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第百五十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第百六十回の爆撃を市の西南部に加へ、第百六十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第百六十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第百六十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第百六十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第百六十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第百六十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第百六十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第百六十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第百六十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第百七十回の爆撃を市の東北部に加へ、第百七十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第百七十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第百七十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第百七十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第百七十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第百七十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第百七十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第百七十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第百七十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第百八十回の爆撃を市の西南部に加へ、第百八十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第百八十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第百八十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第百八十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第百八十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第百八十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第百八十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第百八十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第百八十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第百九十回の爆撃を市の東北部に加へ、第百九十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第百九十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第百九十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第百九十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第百九十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第百九十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第百九十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第百九十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第百九十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百一回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百二回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百三回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百四回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百五回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百六回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百七回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百八回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百九回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百十回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百二十回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百二十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百二十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百二十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百二十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百二十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百二十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百二十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百二十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百二十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百三十回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百三十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百三十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百三十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百三十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百三十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百三十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百三十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百三十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百三十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百四十回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百四十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百四十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百四十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百四十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百四十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百四十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百四十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百四十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百四十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百五十回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百五十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百五十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百五十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百五十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百五十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百五十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百五十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百五十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百五十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百六十回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百六十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百六十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百六十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百六十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百六十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百六十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百六十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百六十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百六十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百七十回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百七十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百七十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百七十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百七十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百七十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百七十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百七十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百七十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百七十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百八十回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百八十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百八十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百八十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百八十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百八十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百八十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百八十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百八十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百八十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百九十回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百九十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百九十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百九十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百九十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百九十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第二百九十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第二百九十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第二百九十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第二百九十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百一回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百二回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百三回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百四回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百五回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百六回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百七回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百八回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百九回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百十回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百二十回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百二十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百二十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百二十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百二十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百二十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百二十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百二十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百二十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百二十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百三十回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百三十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百三十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百三十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百三十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百三十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百三十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百三十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百三十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百三十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百四十回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百四十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百四十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百四十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百四十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百四十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百四十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百四十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百四十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百四十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百五十回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百五十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百五十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百五十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百五十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百五十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百五十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百五十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百五十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百五十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百六十回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百六十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百六十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百六十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百六十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百六十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百六十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百六十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百六十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百六十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百七十回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百七十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百七十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百七十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百七十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百七十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百七十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百七十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百七十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百七十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百八十回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百八十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百八十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百八十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百八十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百八十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百八十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百八十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百八十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百八十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百九十回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百九十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百九十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百九十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百九十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百九十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第三百九十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第三百九十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第三百九十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第三百九十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百一回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百二回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百三回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百四回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百五回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百六回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百七回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百八回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百九回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百十回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百二十回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百二十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百二十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百二十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百二十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百二十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百二十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百二十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百二十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百二十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百三十回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百三十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百三十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百三十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百三十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百三十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百三十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百三十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百三十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百三十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百四十回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百四十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百四十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百四十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百四十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百四十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百四十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百四十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百四十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百四十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百五十回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百五十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百五十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百五十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百五十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百五十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百五十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百五十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百五十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百五十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百六十回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百六十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百六十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百六十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百六十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百六十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百六十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百六十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百六十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百六十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百七十回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百七十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百七十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百七十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百七十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百七十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百七十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百七十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百七十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百七十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百八十回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百八十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百八十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百八十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百八十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百八十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百八十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百八十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百八十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百八十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百九十回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百九十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百九十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百九十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百九十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百九十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第四百九十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第四百九十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第四百九十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第四百九十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百一回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百二回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百三回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百四回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百五回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百六回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百七回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百八回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百九回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百十回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百二十回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百二十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百二十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百二十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百二十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百二十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百二十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百二十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百二十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百二十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百三十回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百三十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百三十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百三十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百三十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百三十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百三十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百三十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百三十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百三十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百四十回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百四十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百四十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百四十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百四十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百四十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百四十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百四十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百四十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百四十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百五十回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百五十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百五十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百五十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百五十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百五十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百五十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百五十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百五十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百五十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百六十回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百六十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百六十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百六十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百六十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百六十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百六十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百六十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百六十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百六十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百七十回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百七十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百七十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百七十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百七十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百七十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百七十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百七十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百七十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百七十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百八十回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百八十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百八十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百八十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百八十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百八十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百八十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百八十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百八十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百八十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百九十回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百九十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百九十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百九十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百九十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百九十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第五百九十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第五百九十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第五百九十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第五百九十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百一回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百二回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百三回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百四回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百五回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百六回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百七回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百八回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百九回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百十回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百二十回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百二十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百二十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百二十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百二十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百二十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百二十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百二十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百二十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百二十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百三十回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百三十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百三十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百三十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百三十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百三十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百三十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百三十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百三十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百三十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百四十回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百四十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百四十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百四十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百四十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百四十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百四十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百四十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百四十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百四十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百五十回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百五十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百五十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百五十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百五十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百五十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百五十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百五十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百五十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百五十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百六十回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百六十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百六十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百六十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百六十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百六十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百六十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百六十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百六十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百六十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百七十回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百七十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百七十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百七十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百七十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百七十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百七十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百七十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百七十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百七十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百八十回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百八十一回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百八十二回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百八十三回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百八十四回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百八十五回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百八十六回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百八十七回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百八十八回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百八十九回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百九十回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百九十一回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百九十二回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百九十三回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百九十四回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百九十五回の爆撃を市の西北部に加へ、第六百九十六回の爆撃を市の西南部に加へ、第六百九十七回の爆撃を市の中心部に加へ、第六百九十八回の爆撃を市の東北部に加へ、第六百九十九回の爆撃を市の西北部に加へ、第七百回の爆撃を市の西南部に加へ、第七百一回の爆撃を市の中心部に加へ、第七百二回の爆撃を市の東北部に加へ、第七百三回の爆撃を市の西北部に加へ、第七百四回の爆撃を市の西南部に加へ、第七百五回の爆撃を市の中心部に加へ、第七百六回の爆撃を市の東北部に加へ、第七百七回の爆撃を市の西北部に加へ、第七百八回の爆撃を市の西南部に加へ、第七百九回の爆撃を市の中心部に加へ、第七百十回

紙衣祖師（67）

（最上段）

吉川英治作

山村耕花畫

法敵篇

葉隠れの花（六）

雪空の重苦しくなった午後の事、その日の昼に配られた、又、その夏があの切れたやうに二つ止むと天成の四郎は、

「？……」

へつと身を縮ませた。

「呼られたかな？」

仮に、いつものごとくなたしい表つて、疑心闇鬼の眼を、床下からに向けた。

すると——案のぜうである。廊下のうへをギク〳〵廊かが踏む音がした。そして、戸の陰に音かしたと思ふと、

「たけ吉つ」

外へ向つて、呼んだ者がある。四郎は、き上つて、扇を絡んだ。僧房とはいへ、吉水の門下には、熊谷蓮生房とふ醍醐果武者の外に、何十人かの雲水が、師のあるえ大い坂攻めに加はつてゐるのである。

その他、寂本の役で、殿やかったいたがたち、侍の木が殿人や朝廷に関してるほかなれて聞き及ぶ所である。

（——こんな奴に捕つては）

自分をすゝめて（駄目だ）

と、悲に、気が弱くなってしまった。それから二日ほど経った白昼である。

あるも、雲中は更かった。上人は又、洞中の由で、けさは手郷が見えないと聞いてゐたが、吉水の皆居、老坊にもわからなやうな、いつもの静かさに復ってゐた。

「そうく、其家の人をお呼いまつた。

ついに、四五年前までは、さういふ言葉を聞しても、百人か二百人かいくしかあらなかったが、近頃では、吉水に寄る日の日に、ふりさえすれば、意外の多い土地から、見慣れた顔が、昔に聞きに来るので、武士や僧侶の話をうけて、その日は、民家たち（駄答すること になってゐた。

「ほう？——鉢が要らぬとふと思つて……聞人がよく訪つて来やがる」

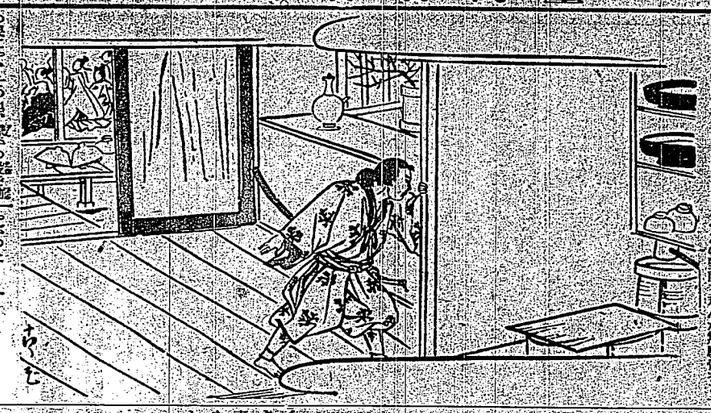
四郎は、一枚の書類の中に埋つてゐるくらゐあつたので、仮は又、人間々の中に埋り込んで、ケロリとした顔をしてゐた。

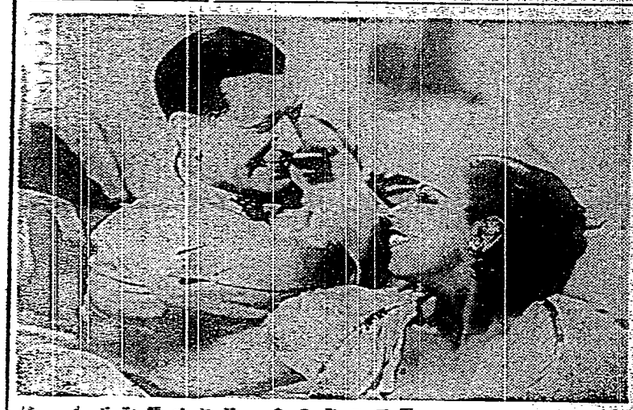
法院門の人が出て、代る〳〵に、3佛門の扉を叩いてゐる。扉系は、既に閉もないで閉むに開き入つてゐた。四郎は、さういふ人々を見まはじて、

「何かいつたい、何用で？——」

と、不思議顔をした。

そのうちに彼は眠くなつてしまつた。置燈台の灯のやうに、思を細め、髪を乱して、こくり〳〵居眠り初めた。





▲本圖は盛者の自由論軍中勝はイ可▲行數は十五字六行以内▲姓名は明記

公開懸賞

新吏道哲學

噂風生

▲清新なる一の大骨格とする新内閣の潮内相は所謂新吏道の確立に関するいふ官僚排の大御所の潮相には此の點大に期待し度いものだ興味ある同氏が大臣に就任してからグッと跡かと聞せられる事だ

▲内務局に部で関者の利益さを知るが如く作し脱いで官吏の過失のせいだか何うか知らないが官吏には往々にして人民ともから杓子定規極柄づくとかいふ非難の聲を聞くことが多い

▲今回の新内閣の成立に際しては此の點を充分に考へられたい

▲官吏の公の服務綱領の第一條も「官吏は常に人民の利益幸福を増進するやうに勉めなければならない」と規定してゐる

▲威信を重んずるは官吏の心得べきことであるが、之が為に威力を濫用するやうなことがあつては本末顛倒である

▲官吏の威力は人民の福利を増進する為に使用すべきもので、之を濫用するやうなことがあつては威信を失墜するのみならず、延いては政府の威信をも傷つけることになる

基礎產業如鐵炭糖鹽斯

全部企圖統制強化

內閣調查局方準備調查

東京二十六日電。內閣調查局為謀之重要產業之統制強化。為按照內閣之重要政綱。目標基礎產業全面的統制強化。近將著手準備調查。即據調查局之方針。我國之基礎產業中。如鐵工業。石炭。砂糖。瓦斯。及肥料五業類。與電力事業。北企業本質上。同比國家權力為目標。強力統制。絕對必要。決定另行組織機構。目大藏次官。商工次官。農林次官。鐵道局長。逓信局長。內務局長。荒井商工局長官。命各地方局長。作成基礎案。

大藏省各地方局長

查考增稅其他增收

為十一年度以降歲入之地

東京二十六日電。財源新財政計畫確立所依。增稅。立非資事業收入增加具體案。欲使事務當局。於明年度施行豫算會議後。直為著手作成。二十五日午後。開關係局中央地方事務連絡協議會。山田主稅局長。荒井商工局長官。命各地方局長。作成基礎案內容如左。

一、煙草。鹽。麻醉。販賣界價之可否。及界價具體法。

即為馬場財政根幹之增稅計畫。自十二年度實施之方針。專賣事業增收計畫與增稅併行之方針。相與行進。此間增稅。不問中央地方。開係稅制改正。經地方各局調查結果。為十一年度以降歲入。貴重資料云。

英米兩國建艦

休日協定成立

倫敦二十五日電。二十五日午後。英米法三國新海軍條約調印之際。英外相。加米大使。兩大使。相約高唱如左。

英米海軍均勢。依然為米國海軍政策之指導原則。英米均勢。雖在華府倫敦兩條約滿期失效後。依然存續。即在新海軍條約。已見艦型。備砲等所關質的制限協定。一面英米兩國。更於量的方面。不相讓過保有總噸數之事。於茲確認。以上協定。對抗日本政策。暗示英米提携。頗惹注目云。

新海軍軍縮會議

聖德森舉簽印式

米國列代表贊成演說

倫敦二十五日電。新海軍軍縮會議調印式。二十五日午後四時十五分。在聖德森宮舉行。席上有米國列代表之贊成演說如左。

本條約。缺乏的縮減規定。故不適合米國之最大希望。然合米國。將來仍希望的縮減達成。日本代表部。脫退會議之時。艦種別總噸數制限。不能贊成。倘已明。余希望華府條約調印國全部。參加新軍縮條約。一萬噸級巡洋艦六年間建造中止。合米國贊成。此等艦型。全然廢棄。則不贊成。戰闘艦艦型。自三萬五千噸降下。即降戰闘艦建造費之事。若與國防上之必要。不相矛盾之時。合米國所最希望。六年間戰闘艦建造休日。合米國亦承諾之。理由已明確云。

華北總領事會議

大使莅席懇談二事

天津二十五日電。有田大使既著。二十五日午前十時。天津總領事館邸。有川通總領事。以下各形事官。西田領事總領事等。齊集報告現地情勢。況關華北重要問題。詳細懇談如左。

一、對英美蘇東南亞各種問題。

二、共產黨進出。

三、各種問題。

臺中州下

街庄長會

開於州會議室

臺中州管內街庄長會議。去二十五日。午前九時半。於州會議室開會。出席者。州內各街庄長。及州當局者。協議事項如左。

一、中央地方。稅制確立。

二、新稅設定。舊稅復活。現行稅立。以上改訂。以實現。增稅之範圍。

一、稅制改正。立增稅所係。各局管轄地方產業家之影響。

一、煙草。鹽。麻醉。販賣界價之可否。及界價具體法。

即為馬場財政根幹之增稅計畫。自十二年度實施之方針。專賣事業增收計畫與增稅併行之方針。相與行進。此間增稅。不問中央地方。關係稅制改正。經地方各局調查結果。為十一年度以降歲入。貴重資料云。

大藏省

合同會議

東京二十六日電。全國稅務監督局長。稅關長。專賣局長。會議。二十五日午前。馬場藏相訓示。續自午後。花大藏省。另開所。

小林躋造大將

○○○○○○○○

東京二十六日發電通至急報。軍事參議官海軍大將小林躋造氏。決定編入豫備役。

某○○○○

○○○○

東京二十六日電通至急報。小林躋造大將○○○○○。

大藏省

合同會議

東京二十六日電。全國稅務監督局長。稅關長。專賣局長。會議。二十五日午前。馬場藏相訓示。續自午後。花大藏省。另開所。

臺灣四月一日施行

法律事務辦理取締法

法律事務辦理取締所關法。本島事務辦理取締所。自四月一日施行。乃與昭和八年五月一日改正辯護士法。同時公布。茲將亦決自四月一日施行。此次辯護士之事業。及其他增收。岡本稅關監視。劉阪吏補。並父兒多數臨席。定刻。伊勢神宮參宮。城垂拜後。幸唱國歌。午後四時。舉行閉所。開國祝賀會。午後四時。舉行閉所。開國祝賀會。午後四時。舉行閉所。

臺灣日日新報

大藏省各地方局長

查考增稅其他增收

為十一年度以降歲入之地

東京二十六日電。財源新財政計畫確立所依。增稅。立非資事業收入增加具體案。欲使事務當局。於明年度施行豫算會議後。直為著手作成。二十五日午後。開關係局中央地方事務連絡協議會。山田主稅局長。荒井商工局長官。命各地方局長。作成基礎案內容如左。

一、煙草。鹽。麻醉。販賣界價之可否。及界價具體法。

即為馬場財政根幹之增稅計畫。自十二年度實施之方針。專賣事業增收計畫與增稅併行之方針。相與行進。此間增稅。不問中央地方。關係稅制改正。經地方各局調查結果。為十一年度以降歲入。貴重資料云。

英米兩國建艦

休日協定成立

倫敦二十五日電。二十五日午後。英米法三國新海軍條約調印之際。英外相。加米大使。兩大使。相約高唱如左。

英米海軍均勢。依然為米國海軍政策之指導原則。英米均勢。雖在華府倫敦兩條約滿期失效後。依然存續。即在新海軍條約。已見艦型。備砲等所關質的制限協定。一面英米兩國。更於量的方面。不相讓過保有總噸數之事。於茲確認。以上協定。對抗日本政策。暗示英米提携。頗惹注目云。

新海軍軍縮會議

聖德森舉簽印式

米國列代表贊成演說

倫敦二十五日電。新海軍軍縮會議調印式。二十五日午後四時十五分。在聖德森宮舉行。席上有米國列代表之贊成演說如左。

本條約。缺乏的縮減規定。故不適合米國之最大希望。然合米國。將來仍希望的縮減達成。日本代表部。脫退會議之時。艦種別總噸數制限。不能贊成。倘已明。余希望華府條約調印國全部。參加新軍縮條約。一萬噸級巡洋艦六年間建造中止。合米國贊成。此等艦型。全然廢棄。則不贊成。戰闘艦艦型。自三萬五千噸降下。即降戰闘艦建造費之事。若與國防上之必要。不相矛盾之時。合米國所最希望。六年間戰闘艦建造休日。合米國亦承諾之。理由已明確云。

華北總領事會議

大使莅席懇談二事

天津二十五日電。有田大使既著。二十五日午前十時。天津總領事館邸。有川通總領事。以下各形事官。西田領事總領事等。齊集報告現地情勢。況關華北重要問題。詳細懇談如左。

一、對英美蘇東南亞各種問題。

二、共產黨進出。

三、各種問題。

臺中州下

街庄長會

開於州會議室

臺中州管內街庄長會議。去二十五日。午前九時半。於州會議室開會。出席者。州內各街庄長。及州當局者。協議事項如左。

一、中央地方。稅制確立。

二、新稅設定。舊稅復活。現行稅立。以上改訂。以實現。增稅之範圍。

一、稅制改正。立增稅所係。各局管轄地方產業家之影響。

一、煙草。鹽。麻醉。販賣界價之可否。及界價具體法。

即為馬場財政根幹之增稅計畫。自十二年度實施之方針。專賣事業增收計畫與增稅併行之方針。相與行進。此間增稅。不問中央地方。關係稅制改正。經地方各局調查結果。為十一年度以降歲入。貴重資料云。

大藏省

合同會議

東京二十六日電。全國稅務監督局長。稅關長。專賣局長。會議。二十五日午前。馬場藏相訓示。續自午後。花大藏省。另開所。

小林躋造大將

○○○○○○○○

東京二十六日電通至急報。軍事參議官海軍大將小林躋造氏。決定編入豫備役。

某○○○○

○○○○

東京二十六日電通至急報。小林躋造大將○○○○○。

大藏省

合同會議

東京二十六日電。全國稅務監督局長。稅關長。專賣局長。會議。二十五日午前。馬場藏相訓示。續自午後。花大藏省。另開所。

臺灣四月一日施行

法律事務辦理取締法

法律事務辦理取締所關法。本島事務辦理取締所。自四月一日施行。乃與昭和八年五月一日改正辯護士法。同時公布。茲將亦決自四月一日施行。此次辯護士之事業。及其他增收。岡本稅關監視。劉阪吏補。並父兒多數臨席。定刻。伊勢神宮參宮。城垂拜後。幸唱國歌。午後四時。舉行閉所。開國祝賀會。午後四時。舉行閉所。

厦門市教育現狀

小學校設備極不周

中學生服美麗生活奢華

（厦門特電）厦門教育。據市公安局調查。全市達學齢兒童一萬三百餘名。其主要原因。為厦門為國際港。接近外國文化。及南洋華僑。壹力于教育發展。並福建民族。有施取的性質等。該教育界現狀如左。

▲幼稚園　公私立計八校。兒童七百十餘名。幼兒一人。授業料。每期平均十元強。比客年收容數。激減一百餘名。原因。為不景氣。及授業料過重。故今後希多設公立幼稚園。以善導無產階級幼兒。又現在園內施設。體育。衛生方面。十分不完備。

▲小學校　市立計九校。職員百二十四人。兒童二千八百餘名。私立計四十七校。職員五百四十八人。兒童八千六百餘名。短期小學校。計二十校。職員四十五人。兒童千八百餘名。兒童。學校。職員數比客年加多。就中一學校。兒童不滿十餘名。校舍亦用當通人家。內部設備。極不完備。且無運動場。衛生不良。要健康。兒童甚少。又各私立學校。隔于教育當局。對學生活不安。故市當局。已有相當考慮。

中學校設備極不周

厦門市教育現狀

小學生服美麗生活奢華

（厦門特電）厦門教育。據市公安局調查。全市達學齢兒童一萬三百餘名。其主要原因。為厦門為國際港。接近外國文化。及南洋華僑。壹力于教育發展。並福建民族。有施取的性質等。該教育界現狀如左。

▲幼稚園　公私立計八校。兒童七百十餘名。幼兒一人。授業料。每期平均十元強。比客年收容數。激減一百餘名。原因。為不景氣。及授業料過重。故今後希多設公立幼稚園。以善導無產階級幼兒。又現在園內施設。體育。衛生方面。十分不完備。

▲小學校　市立計九校。職員百二十四人。兒童二千八百餘名。私立計四十七校。職員五百四十八人。兒童八千六百餘名。短期小學校。計二十校。職員四十五人。兒童千八百餘名。兒童。學校。職員數比客年加多。就中一學校。兒童不滿十餘名。校舍亦用當通人家。內部設備。極不完備。且無運動場。衛生不良。要健康。兒童甚少。又各私立學校。隔于教育當局。對學生活不安。故市當局。已有相當考慮。

臺北大所得者

邦人事業家多富裕

島人所得比較稀微

臺北開業者。當商店。柴山商店。森山泰吉。森為男。明座云。

岩松司令官

廿五日蒞臺南

岩松守備隊司令官。去二十五日午前十一時。許蒞臺中。百貨店。松木幹一郎氏電。

新臺南驛

落成續報

翌日新驛發車

臺南驛新築成。如既報。翌日新驛發車。

臺北大所得者

邦人事業家多富裕

島人所得比較稀微

臺北開業者。當商店。柴山泰吉。森為男。明座云。

岩松司令官

廿五日蒞臺南

岩松守備隊司令官。去二十五日午前十一時。許蒞臺中。百貨店。松木幹一郎氏電。

新臺南驛

落成續報

翌日新驛發車

臺南驛新築成。如既報。翌日新驛發車。

故大妃殿下遙拜式

在新公園莊嚴舉行

參列官民團體數千名

前報臺北市官民合同主催。十五晚六時。在日新王二故北白川宮大妃殿下御葬。丁目德盛茶行內開第七回定期總會。組合員二百餘名中。大部分出席。楊江總代開會。王鴻猷組合長報告收支。足立顧問勉以勿爭置葬位置。盖該組合設立由來。因行商無處。可以置葬。常以妨害交通。被罰。乃請北署許以一定位置而置葬。當局亦以救濟細民主旨。凡有葬地。如法主公刚山。城隍廟後。城祖宮前。盛行商。向州地方誤。租借日新町。圓環內。年納借地料二百圓。商人便之。惟有一部無理解者。時常鬧事。乃有是語。已而晚餐。八時散會。

故大妃殿下遙拜式

在新公園莊嚴舉行

參列官民團體數千名

前報臺北市官民合同主催。十五晚六時。在日新王二故北白川宮大妃殿下御葬。丁目德盛茶行內開第七回定期總會。組合員二百餘名中。大部分出席。楊江總代開會。王鴻猷組合長報告收支。足立顧問勉以勿爭置葬位置。盖該組合設立由來。因行商無處。可以置葬。常以妨害交通。被罰。乃請北署許以一定位置而置葬。當局亦以救濟細民主旨。凡有葬地。如法主公刚山。城隍廟後。城祖宮前。盛行商。向州地方誤。租借日新町。圓環內。年納借地料二百圓。商人便之。惟有一部無理解者。時常鬧事。乃有是語。已而晚餐。八時散會。

北港媽祖

遶境期日

舊曆三月中旬

北港朝天宮天上聖母祭典。每年于舊曆三月中旬。遶境一次。今年亦屆期舉行。聞本年對其準備。已着手進行。期日。定舊曆三月十九二十兩日間。而本年無閏。故自舊曆二月十九二十兩日間。改延舊曆三月二十兩日間。盛大舉行云。

盜用鐵器

擊傷人妻

嘉義市竹圍子人顧墻家。自去二月上旬至中旬。前後兩次。被人竊去現金三十餘圓。會報官在案。至本月十四日午前四時半。復有一怪漢。開窓門入室。被墻之妻陳氏綢發見。欲拙住之。該漢持鐵器。擊傷氏之頭部。然後逃脫。翌日探知該漢係住同所本居地東石郡東石庄。謝淵人。李燮。年二十一。總流大目。被害者。遂對嘉義署告訴竊盜及傷害罪。事由署署召問。經二夕自供。

絵死牛舍內

老人林甲

南投郡草屯庄茄苳。老人林甲。有私立草洲。中庄。山腳。九甲。南投隘國習所。第八。私立南投公學校。教員。陳基。年二十。昨日午後四時。在陸軍借行。招待市內主要官民。開披露会話會。

飲食店雇人

竊取時錶

臺北市南昇町。李州刑。于昨十四日午後七時。于榮町附近。捕員林郡人。榮町某飲食店雇人。陳基。年二十。嚴重查究。始自白去十九夜。在京町某洋服店。竊取金時表。約值三百。餘圓云。

和美庄方委

視察南投員林

彰化郡和美庄方面委員。一行二十名。由庄職員引率。訂本二十七日起二日間。視察南投員林兩郡下窮民救助狀況。及方面委員事業施設等云。

基隆中央市場會社

臨時總會異常紛糾

改選取締役後閉會

基隆中央市場會社。臨時總會。去二十五日午後二時。開於同會館。出席者。會長任狀四十二名。三千四百二十三株。來賓有小林壽。松尾業課長及高橋署長等。臨席。首由西支配人報總會之成。因再改選。午後七時閉會。取締役當選者如左。

李天賜。西輝雄。田中庄吉。松浦新平。連阿池。王以文。

基隆中央市場會社

臨時總會異常紛糾

改選取締役後閉會

基隆中央市場會社。臨時總會。去二十五日午後二時。開於同會館。出席者。會長任狀四十二名。三千四百二十三株。來賓有小林壽。松尾業課長及高橋署長等。臨席。首由西支配人報總會之成。因再改選。午後七時閉會。取締役當選者如左。

李天賜。西輝雄。田中庄吉。松浦新平。連阿池。王以文。

臺北行商自治

組合總會

臺北行商自治組合。去二

北門公兒童激增

父兄等慮不得入學

擁到郡守代理處陳情

北門郡北門公學校。近年次陳情交部。俱不得安領。日前乘便返臺。接具考案。謂表彰式。訂本二十七日午前九時起。將舉行於嘉中。

北門公兒童激增

父兄等慮不得入學

擁到郡守代理處陳情

北門郡北門公學校。近年次陳情交部。俱不得安領。日前乘便返臺。接具考案。謂表彰式。訂本二十七日午前九時起。將舉行於嘉中。

舊家採女賣人為妾

致女悲觀自殺

黃氏鶴治。年十八。臺南市本町二丁目。眼科醫李猶之妻。去二十四日午後一時起。在嶺港郡鹽水街。被夫毆打。因時公學校。教員數九十餘名。學生數百數十名。內容。設備極周至。然歐美色彩甚濃厚。且因男女共學。由南洋華僑陳嘉庚氏出資。創立。內分理學院。法學院。商學院。或經州醫院等五部。及附設。倚務者。搾取高血。雖至最後之一錢。亦必收回。利。由訴訟其他手段。而實行其權利。為業者。而所謂信託業者中。因高利貸等。而迅于不能收回之債權。以賤價買受。用語威脅。而由倚務者。搾取高血。雖至最後之一錢。亦必收回。

舊家採女賣人為妾

致女悲觀自殺

黃氏鶴治。年十八。臺南市本町二丁目。眼科醫李猶之妻。去二十四日午後一時起。在嶺港郡鹽水街。被夫毆打。因時公學校。教員數九十餘名。學生數百數十名。內容。設備極周至。然歐美色彩甚濃厚。且因男女共學。由南洋華僑陳嘉庚氏出資。創立。內分理學院。法學院。商學院。或經州醫院等五部。及附設。倚務者。搾取高血。雖至最後之一錢。亦必收回。

金山

舉修了式

基隆郡金山庄。鹽港郡鄉立。礁港國語講習所第一回修了式。去二十四日午後一時起。在礁港郡金山庄役場。山本公學校。赴臨安平。作慰安會。行。

方委視察

鹽港街方委員一行。

鹽港街方面委員一行。訂來二十九日。由鹽港出發。前往臺南。視察。假公會堂。開委員會。云。

開總代會

鹽港街區港協同組合。

鹽港街區港協同組合。訂來二十一日。在公會堂。開第一回總代會。附議創立後。初事項云。

嘉義

竊取脫表

嘉義市榮町四丁目。洋服商。年二十四。鄭日副。去十八夜。在市內某町。竊取金表。被發覺。在市內某町。地點上。由民名不。當隊一販買者表。被發中所竊取有。總數凡十七圓。

會事

▲臺北商工協會。第十四回月例會。定今夜六時。開於市內大平町沙卿。時間。二十七日午後一時。在觀菜信組。常務理事會。決定新役員。

人事

▲臺北市。木曾町長。臺北大藥房。平井傳三郎之弟。為婿養子。先次與。員林郡溪湖米商陳金華。為婿養子。擇定四月一日。入籍。結婚。式。

幼女行竊

嘉義市西門町六丁目。教氏金居。年十二。最近用。頗乏。日當約五六十錢。該管派出所員。見而疑之。去二十四日午後五時。召入派出所訊。自白所竊之金。為去十五日午後五時。在市西門町六丁目四番地。上由民名不。當隊一販買者表。被發中所竊取有。總數凡十七圓。

幼女行竊

嘉義市西門町六丁目。教氏金居。年十二。最近用。頗乏。日當約五六十錢。該管派出所員。見而疑之。去二十四日午後五時。召入派出所訊。自白所竊之金。為去十五日午後五時。在市西門町六丁目四番地。上由民名不。當隊一販買者表。被發中所竊取有。總數凡十七圓。

會事

▲臺北商工協會。第十四回月例會。定今夜六時。開於市內大平町沙卿。時間。二十七日午後一時。在觀菜信組。常務理事會。決定新役員。

人事

▲臺北市。木曾町長。臺北大藥房。平井傳三郎之弟。為婿養子。先次與。員林郡溪湖米商陳金華。為婿養子。擇定四月一日。入籍。結婚。式。

商況（廿六日）

米況

正米市況前場

期別	賣	買	前日	增減
四月	一八九〇	一八九二	一八九一	一
五月	一八九五	一八九七	一八九六	一
六月	一九〇〇	一九〇二	一九〇一	一
七月	一九〇五	一九〇七	一九〇六	一
八月	一九一〇	一九一二	一九一一	一
九月	一九一五	一九一七	一九一六	一
十月	一九二〇	一九二二	一九二一	一
十一月	一九二五	一九二七	一九二六	一
十二月	一九三〇	一九三二	一九三一	一
一月	一九三五	一九三七	一九三六	一
二月	一九四〇	一九四二	一九四一	一
三月	一九四五	一九四七	一九四六	一

東京銀行實株

期別	賣	買	前日	增減
四月	二一〇	二一二	二一〇	一
五月	二一五	二一七	二一五	一
六月	二二〇	二二二	二二〇	一
七月	二二五	二二七	二二五	一
八月	二三〇	二三二	二三〇	一
九月	二三五	二三七	二三五	一
十月	二四〇	二四二	二四〇	一
十一月	二四五	二四七	二四五	一
十二月	二五〇	二五二	二五〇	一
一月	二五五	二五七	二五五	一
二月	二六〇	二六二	二六〇	一
三月	二六五	二六七	二六五	一

紐育株式

期別	賣	買	前日	增減
四月	一八九〇	一八九二	一八九一	一
五月	一八九五	一八九七	一八九六	一
六月	一九〇〇	一九〇二	一九〇一	一
七月	一九〇五	一九〇七	一九〇六	一
八月	一九一〇	一九一二	一九一一	一
九月	一九一五	一九一七	一九一六	一
十月	一九二〇	一九二二	一九二一	一
十一月	一九二五	一九二七	一九二六	一
十二月	一九三〇	一九三二	一九三一	一
一月	一九三五	一九三七	一九三六	一
二月	一九四〇	一九四二	一九四一	一
三月	一九四五	一九四七	一九四六	一

期米

大阪期米前場

期別	賣	買	前日	增減
四月	一八九〇	一八九二	一八九一	一
五月	一八九五	一八九七	一八九六	一
六月	一九〇〇	一九〇二	一九〇一	一
七月	一九〇五	一九〇七	一九〇六	一
八月	一九一〇	一九一二	一九一一	一
九月	一九一五	一九一七	一九一六	一
十月	一九二〇	一九二二	一九二一	一
十一月	一九二五	一九二七	一九二六	一
十二月	一九三〇	一九三二	一九三一	一
一月	一九三五	一九三七	一九三六	一
二月	一九四〇	一九四二	一九四一	一
三月	一九四五	一九四七	一九四六	一

神戶期米前場

期別	賣	買	前日	增減
四月	一八九〇	一八九二	一八九一	一
五月	一八九五	一八九七	一八九六	一
六月	一九〇〇	一九〇二	一九〇一	一
七月	一九〇五	一九〇七	一九〇六	一
八月	一九一〇	一九一二	一九一一	一
九月	一九一五	一九一七	一九一六	一
十月	一九二〇	一九二二	一九二一	一
十一月	一九二五	一九二七	一九二六	一
十二月	一九三〇	一九三二	一九三一	一
一月	一九三五	一九三七	一九三六	一
二月	一九四〇	一九四二	一九四一	一
三月	一九四五	一九四七	一九四六	一

株式

大阪短期前場

期別	賣	買	前日	增減
四月	一八九〇	一八九二	一八九一	一
五月	一八九五	一八九七	一八九六	一
六月	一九〇〇	一九〇二	一九〇一	一
七月	一九〇五	一九〇七	一九〇六	一
八月	一九一〇	一九一二	一九一一	一
九月	一九一五	一九一七	一九一六	一
十月	一九二〇	一九二二	一九二一	一
十一月	一九二五	一九二七	一九二六	一
十二月	一九三〇	一九三二	一九三一	一
一月	一九三五	一九三七	一九三六	一
二月	一九四〇	一九四二	一九四一	一
三月	一九四五	一九四七	一九四六	一

東京短期前場

期別	賣	買	前日	增減
四月	一八九〇	一八九二	一八九一	一
五月	一八九五	一八九七	一八九六	一
六月	一九〇〇	一九〇二	一九〇一	一
七月	一九〇五	一九〇七	一九〇六	一
八月	一九一〇	一九一二	一九一一	一
九月	一九一五	一九一七	一九一六	一
十月	一九二〇	一九二二	一九二一	一
十一月	一九二五	一九二七	一九二六	一
十二月	一九三〇	一九三二	一九三一	一
一月	一九三五	一九三七	一九三六	一
二月	一九四〇	一九四二	一九四一	一
三月	一九四五	一九四七	一九四六	一

公債

東京國債前場

期別	賣	買	前日	增減
四月	一八九〇	一八九二	一八九一	一
五月	一八九五	一八九七	一八九六	一
六月	一九〇〇	一九〇二	一九〇一	一
七月	一九〇五	一九〇七	一九〇六	一
八月	一九一〇	一九一二	一九一一	一
九月	一九一五	一九一七	一九一六	一
十月	一九二〇	一九二二	一九二一	一
十一月	一九二五	一九二七	一九二六	一
十二月	一九三〇	一九三二	一九三一	一
一月	一九三五	一九三七	一九三六	一
二月	一九四〇	一九四二	一九四一	一
三月	一九四五	一九四七	一九四六	一

為替

外國為替相場

期別	賣	買	前日	增減
四月	一八九〇	一八九二	一八九一	一
五月	一八九五	一八九七	一八九六	一
六月	一九〇〇	一九〇二	一九〇一	一
七月	一九〇五	一九〇七	一九〇六	一
八月	一九一〇	一九一二	一九一一	一
九月	一九一五	一九一七	一九一六	一
十月	一九二〇	一九二二	一九二一	一
十一月	一九二五	一九二七	一九二六	一
十二月	一九三〇	一九三二	一九三一	一
一月	一九三五	一九三七	一九三六	一
二月	一九四〇	一九四二	一九四一	一
三月	一九四五	一九四七	一九四六	一

神戶對外為替

期別	賣	買	前日	增減
四月	一八九〇	一八九二	一八九一	一
五月	一八九五	一八九七	一八九六	一
六月	一九〇〇	一九〇二	一九〇一	一
七月	一九〇五	一九〇七	一九〇六	一
八月	一九一〇	一九一二	一九一一	一
九月	一九一五	一九一七	一九一六	一
十月	一九二〇	一九二二	一九二一	一
十一月	一九二五	一九二七	一九二六	一
十二月	一九三〇	一九三二	一九三一	一
一月	一九三五	一九三七	一九三六	一
二月	一九四〇	一九四二	一九四一	一
三月	一九四五	一九四七	一九四六	一

穀肥

シカゴ小麥

期別	賣	買	前日	增減
四月	一八九〇	一八九二	一八九一	一
五月	一八九五	一八九七	一八九六	一
六月	一九〇〇	一九〇二	一九〇一	一
七月	一九〇五	一九〇七	一九〇六	一
八月	一九一〇	一九一二	一九一一	一
九月	一九一五	一九一七	一九一六	一
十月	一九二〇	一九二二	一九二一	一
十一月	一九二五	一九二七	一九二六	一
十二月	一九三〇	一九三二	一九三一	一
一月	一九三五	一九三七	一九三六	一
二月	一九四〇	一九四二	一九四一	一
三月	一九四五	一九四七	一九四六	一

神戶豆粕

期別	賣	買	前日	增減
四月	一八九〇	一八九二	一八九一	一
五月	一八九五	一八九七	一八九六	一
六月	一九〇〇	一九〇二	一九〇一	一
七月	一九〇五	一九〇七	一九〇六	一
八月	一九一〇	一九一二	一九一一	一
九月	一九一五	一九一七	一九一六	一
十月	一九二〇	一九二二	一九二一	一
十一月	一九二五	一九二七	一九二六	一
十二月	一九三〇	一九三二	一九三一	一
一月	一九三五	一九三七	一九三六	一
二月	一九四〇	一九四二	一九四一	一
三月	一九四五	一九四七	一九四六	一

砂糖

大阪現物

期別	賣	買	前日	增減
四月	一八九〇	一八九二	一八九一	一
五月	一八九五	一八九七	一八九六	一
六月	一九〇〇	一九〇二	一九〇一	一
七月	一九〇五	一九〇七	一九〇六	一
八月	一九一〇	一九一二	一九一一	一
九月	一九一五	一九一七	一九一六	一
十月	一九二〇	一九二二	一九二一	一
十一月	一九二五	一九二七	一九二六	一
十二月	一九三〇	一九三二	一九三一	一
一月	一九三五	一九三七	一九三六	一
二月	一九四〇	一九四二	一九四一	一
三月	一九四五	一九四七	一九四六	一

大阪長期前場

期別	賣	買	前日	增減
四月	一八九〇	一八九二	一八九一	一
五月	一八九五	一八九七	一八九六	一
六月	一九〇〇	一九〇二	一九〇一	一
七月	一九〇五	一九〇七	一九〇六	一
八月	一九一〇	一九一二	一九一一	一
九月	一九一五	一九一七	一九一六	一
十月	一九二〇	一九二二	一九二一	一
十一月	一九二五	一九二七	一九二六	一
十二月	一九三〇	一九三二	一九三一	一
一月	一九三五	一九三七	一九三六	一
二月	一九四〇	一九四二	一九四一	一
三月	一九四五	一九四七	一九四六	一

礦油

玖瑪

期別	賣	買	前日	增減
四月	一八九〇	一八九二	一八九一	一
五月	一八九五	一八九七	一八九六	一
六月	一九〇〇	一九〇二	一九〇一	一
七月	一九〇五	一九〇七	一九〇六	一
八月	一九一〇	一九一二	一九一一	一
九月	一九一五	一九一七	一九一六	一
十月	一九二〇	一九二二	一九二一	一
十一月	一九二五	一九二七	一九二六	一
十二月	一九三〇	一九三二	一九三一	一
一月	一九三五	一九三七	一九三六	一
二月	一九四〇	一九四二	一九四一	一
三月	一九四五	一九四七	一九四六	一

大阪棉花

期別	賣	買	前日	增減
四月	一八九〇	一八九二	一八九一	一
五月	一八九五	一八九七	一八九六	一
六月	一九〇〇	一九〇二	一九〇一	一
七月	一九〇五	一九〇七	一九〇六	一
八月	一九一〇	一九一二	一九一一	一
九月	一九一五	一九一七	一九一六	一
十月	一九二〇	一九二二	一九二一	一
十一月	一九二五	一九二七	一九二六	一
十二月	一九三〇	一九三二	一九三一	一
一月	一九三五	一九三七	一九三六	一
二月	一九四〇	一九四二	一九四一	一
三月	一九四五	一九四七	一九四六	一

砂糖

大阪期糖

期別	賣	買	前日	增減
四月	一八九〇	一八九二	一八九一	一
五月	一八九五	一八九七

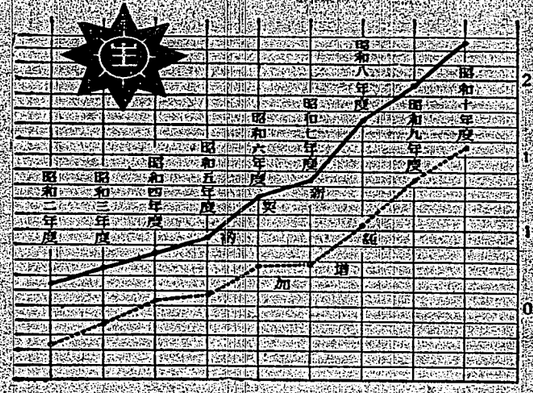
臺灣日日新報

★年々記錄を更新し五十年に近き創業以來の歷史に輝かしき實績を收む

最善の奉仕に件ふ最高の記錄

昨年度の業績

新契約　二億二千七百萬圓
純増加　一億五千五百萬圓
年末現在高　十億六千三百萬圓
總資産　一億九千九百萬圓
營業益金　一億六千二百萬圓
純利益金　一千九十萬圓
（内利益配當準備金繰入）　七百八十萬圓



★新種養老保險は保險業界のトップを切つて、今年度も最高率配當を實行

保險料　百圓二口

今年度の配當

三割配當　昭和十年度契約ニ對シ　三十圓
二割五分配當　昭和三年度契約ニ對シ　廿五圓
二割配當　昭和四年度契約ニ對シ　二十圓
一割五分配當　昭和五年度契約ニ對シ　十五圓
一割配當　昭和六年度契約ニ對シ　十圓
五分配當　昭和七年度契約ニ對シ　五圓

加入者利益金　二千四百八十萬圓

帝國生命

（營業案内・住所等進呈者番號）

東京・丸の内

新英和大辭典

岡倉由三郎先生編

研究社

双解式英和理想の極致

生ける全英語全米語の博覽

發音・シノニム語原の徹底

本大英和は、譬へば三高峰を聳立する大アルプスである。(1)音標文字の統一(2)シノニムの括弧挿入(3)語原の探擇！(1)は稀に類書にも發見し得るが(2)(3)に至つては全然之れを絶つ。而して此の三特色を具へざる限り英和辭典は徒らに譯語の羅列を事とし、學徒を暗中摸索に終らしむる舊型の物に留まるのである。新版本書に於て此の大特色は愈々その妙を發揮し、正に三峰天に沖するの概がある。而も語彙に於ては一切の現代英語と米國の標準語とを網羅し、譯語、說明語は再檢討を加へて明快且つ周到を悉し、熟語引例をも大增加して眞に大英和の極致に到達した。發賣以來、無條件の稱讚を浴びて、刻々全國の書架に加へられつゝある。速かに一本を備へ給へ！

語彙・語義・語原・附錄

現代英語を主とし、最近十年間に新現せる新語をも悉し、更に全米語を著く收錄。

發音・語義

學術上最も合理的且つ簡潔なる萬國音標文字を採用し、同時に最も自然なる發音を統一。

語義

四部に明快簡潔、シノニムを設けて語義を徹底、熟語・引例をも大增加し且つ有機的に分類排列。

語原

男女の異形及び語義の理解なる指導のために、的確なる語原を添加し、詳細なる解說をも施す。

附錄

略語二十六頁・三千三百語、及び、固有名詞七千項目・萬語を卷末に添ふ。

此の超對特色

現代英語を主とし、最近十年間に新現せる新語を悉し、更に全米語を著く收錄。

食中毒にダイモール常備必携

（主婦之友附錄）

日本赤十字社推奨

完成！第一行第一字より全革新版

新英和

（CID-17）

英和の新太陽！

内容見本進呈

特價六圓五十錢

（定價七圓・送料三十三錢）

東京麹町區富士見町一

研究社

振替東京一八六〇一

英和大辭典

岡倉由三郎先生編

四六大判二段組・最上羊皮裝
總二千五百三十頁・美本堅牢

内容見本進呈

特價六圓五十錢

（定價七圓・送料三十三錢）

東京麹町區富士見町一

研究社

振替東京一八六〇一

家相と住宅

▼家相鑑定祕傳・新築轉居の案内書

▼運命を支配する科學的家相の神祕

家を建てる人！　賣家を買ふ人！　貸家に住む人！

◇氣狂の出る家相◇變死者を出す家相◇肺病にかゝる家相◇子供が育たぬ家相◇火災にかゝる家相◇長男が居つかぬ家相◇未亡人となる家相◇家運衰退の家相◇

岡本陽著・定價二圓三十錢（送料十二錢）

運命學大成

運命學大成・第二回配本

岡本陽著・定價二圓三十錢（送料十二錢）

名相と人生

▼門外不出の名相學鑑定祕傳書なり

▼命名用辭典を附せる姓名學の定本

山口裕康著・定價二圓三十錢（送料十二錢）

運命學大成

内容見本申込進呈

東京市芝區愛宕町二ノ一
振替東京二八七一五番

東學社

名相と人生　山口裕康著
家相と住宅　岡本陽著
相性と結婚　平松愛久著
墓相と家運　今井鴻象著
掌相精義　乾臻洞著
氣學の神祕　福永清白著
性相と更生　神山五黃著
印章の神祕　山口祿園著

品粧化級陽ヲフク

春の散策に！ピクニックに！輕快明朗なお化粧には、白粉とクリームの作用を兼ねた綜合ホルモン含有により若く美しくなるクフクピシンとお定め下さい！

★出來なき化粧下・綜合ホルモン含有の若返り化粧水

クフクフ乳液　51錢

★潤澤清新な香調をつくり　たゞ一番明朗な口紅

クフクフ口紅　35錢

★漆黒の毛髮美をつくり出す最新最良の養毛劑

クフクフ植物ポマード　40錢

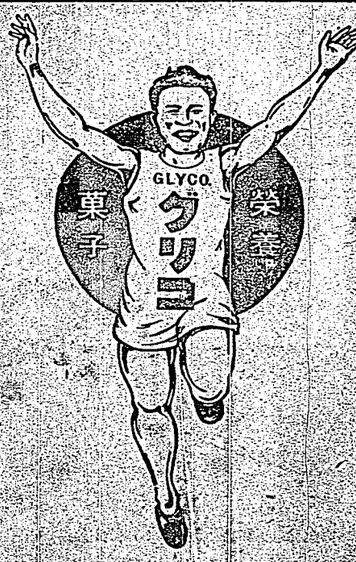
クフクフ山吹白粉　クフクフ桃白粉　クフクフ水白粉　クフクフはだ白粉　クフクフ白粉　クフクフ白粉錠　クフクフ化粧水　クフクフ乳液　クフクフ口紅　クフクフほゝ紅　クフクフ香水　クフクフ紫水　クフクフ波止場　クフクフみゝかくし　クフクフコールドクリーム　クフクフ美容クリーム　クフクフカフェー白粉　クフクフカフェーパウダー　クフクフカフェーリキッド　クフクフカフェーネール　クフクフカフェーエナメル　クフクフカフェーヘヤートニック　クフクフカフェーポマード　クフクフカフェーヘヤーネール　クフクフカフェーヘヤーエナメル　クフクフカフェーヘヤートニック　クフクフカフェーポマード

主要品種別

シシビブラク

粉白利用有合シモルホ

一粒三百メートル



榮養素八種含まれてゐますからお子樣方のおやつにはこれが一番です

五錢・十錢

製造元　江崎グリコ株式會社　大阪・東京

皮膚ナヤージン

◎顏・手足のアレ

◎指間水虫・股間いんきん

ムスカユキ皮膚病

水虫・たむし・いんきん・ニキビ・吹出物・腫れ物・手足のアレ・蟲さされ・疥癬・疣・胼胝・魚の目・たゞれ・あせも・汚れず・荒れず・ひゞ・あかぎれ・しもやけ・ふけ・かゆみ・ほくろ・しみ・そばかす・面皰・五十錢・一圓・五圓

東京麹町區有樂町　山崎松園堂

白光ペン

（切手四錢同封ご請求次第見本呈上）

◆本國文具店に有り

◆東洋製鋼會社　東京市麹町區有樂町

白金水

ひゞ・あかぎれ・しもやけ・ふけ・かゆみ・ほくろ・しみ・そばかす・面皰・たむし・いんきん・水むし・疥癬・疣・胼胝・魚の目・たゞれ・あせも・汚れず・荒れず・ニキビ・吹出物・腫れ物・手足のアレ・蟲さされ

大豆粕の飼料、化試驗に期待

一億の改良で一千萬圓の利益

（一）

一、飼料の肥料となるべき大豆粕を直接飼料として使用せず先づこれを豚に飼料として與へ豚の體内で適當に消化せしめて豚の體内に吸收せられた殘りかすを肥料として使用せんとする目的で化試驗は農商務省農事試驗場に於て過去十數年の研究によつて實際的試驗は大體に於て完了したが、殺豚の飼養試驗の方は未だ明にされてゐない。例へば豆粕と甘藷及び甘藷屑とを配合して飼料を調製し豚を飼育するときは豚米の飼養法に比し二ヶ月を短縮し得る事は判明したけれども未だ兩者の間の經濟的比較は研究されて居らぬ。

二、現在の豚の飼育法を見るに豚舍は不潔である上に舍内に糞尿をせしめ、飼料はたゞ之を與へるに過ぎないから豚の健康を害し發育が不良である。豚舍は清潔にし飼料は適當に配合して與へなければならない。

三、豚の生産費は飼料費が最も多く全體の七割乃至八割を占めてゐるから飼料の改良は豚の生産費を減ずるに最も有效である。

四、豚の生産費は飼料費の外に豚舍費、人件費、利子、償却費等の諸費用を加へねばならぬ。豚舍は豚の發育に適し且つ經濟的なものを要する。

五、最低價格の改良をやつても右の種々な點が加味されて來ることを考へれば飼料豆粕の合理的使用は容易ならざる難事である。

（二）

一、豚の發育は飼料の種類によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

（三）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（四）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（五）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（六）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（七）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（八）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（九）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（十）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（十一）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（十二）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（十三）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（十四）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（十五）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（十六）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（十七）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（十八）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（十九）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（二十）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（二十一）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（二十二）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（二十三）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（二十四）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（二十五）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（二十六）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（二十七）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（二十八）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（二十九）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（三十）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（三十一）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（三十二）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（三十三）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（三十四）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（三十五）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（三十六）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（三十七）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（三十八）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（三十九）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（四十）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（四十一）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（四十二）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（四十三）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（四十四）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（四十五）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（四十六）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（四十七）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（四十八）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（四十九）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（五十）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（五十一）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（五十二）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（五十三）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（五十四）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（五十五）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（五十六）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（五十七）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（五十八）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（五十九）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（六十）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（六十一）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（六十二）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（六十三）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（六十四）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（六十五）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（六十六）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（六十七）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（六十八）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（六十九）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（七十）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（七十一）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（七十二）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（七十三）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（七十四）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（七十五）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（七十六）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（七十七）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（七十八）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（七十九）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（八十）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（八十一）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（八十二）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（八十三）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（八十四）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（八十五）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（八十六）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（八十七）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（八十八）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（八十九）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（九十）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（九十一）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（九十二）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（九十三）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（九十四）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（九十五）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（九十六）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（九十七）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（九十八）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（九十九）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否によつて著しく差異を生ずる。

三、豚の發育は豚の飼養管理によつて著しく差異を生ずる。

四、豚の發育は豚の品種によつて著しく差異を生ずる。

五、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

（百）

一、豚の發育は豚の健康狀態によつて著しく差異を生ずる。

二、豚の發育は豚舍の良否

國際貿易に於ける非常時局

（五）

池田亭一

五日本と各國の通商會議の經過

前述の如く國際貿易の情勢が日々各國人民の利害關係が區々となり各國民の利害關係が益々紛糾の度を加へるに至つたのは、昨年初頃からにんどうの流行、勞銀の騰貴を起こしたことも限りませぬから先づ所要資金をもつまして便に關しないではないかと云ふ事の必要なことは云ふまでもありませぬ。

第一日印會商

日本は印度物を年々數億圓も買つて居るに拘らず印度に對する日本の輸出額が年々減少の傾向を辿つて居りまして昭和八年に印度政府は日印通商條約の廢棄を宣言しマヌダピング防止法を公布しました。そこで日本からは棉製品其他が印度に行き一方日本では紡績聯合會と印度棉花輸出組合との間に協定が出來まして印度の棉花が日本に輸入されることになりました。而して北支及び北鮮地方の豆類は滿洲豆に對する輸出奬勵金付は同豆と競爭の關係にあるので從來日本の低廉且つ大量の買手として滿洲豆の輸出を年々四億斤乃至五億斤の多數に上つて居りましたが、日滿關稅協定の實施に伴ひ滿洲豆の輸入關稅が撤廢されましたので滿洲豆の輸入が激増し從來の輸出關係に大變動を來すに至つたのであります。

第二日蘭會商

由來、蘭印度、特に爪哇は棉紗類の主要輸入地を以て自國の棉織物を蘭印に輸出するに對し五州米綿商同業組合聯合會に於て蘭印棉業組合聯合會と協定を結び、蘭印側は日本品の輸入を制限する代りに棉製品の輸入を制限しないと云ふ條件で協定が成立しました。

第三日比貿易協定

ピリッピンは米國の領土であります從つて米國品が關稅上に入れば無關稅となり一方に於ては日本品に對しては

街に散る花

（100）

竹田敏彦作

寺本忠雄畫

身の上相談

前途に迷ふ

夜間の部

難症 中風は治る

偉大なる病理書刊行さる

中風病者の一大福音！

日やく

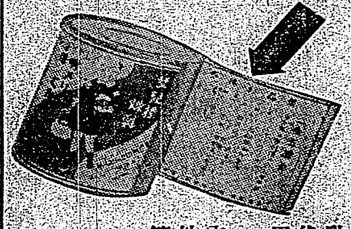
流行月散 專門の最新藥

子供の出來ない 奥樣の福音

白なまづ

新學期の御用意は今！

クルミーリメ治明（乳煉標兒女）



ADALIN アダリン錠

豫算の關係から 開校を二ケ月延期

花蓮港中學と臺北第二商業

臺灣水道協會の 總會を臺南に開く

出席者七十餘名

心身の過勞から 村民體格が低下

林田村で善後策の急務叫ばる

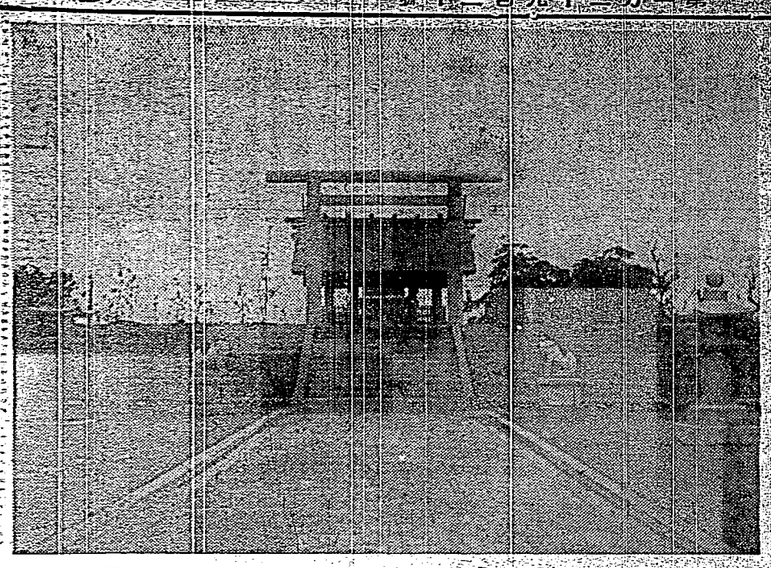
治外法權の 惡用は不可

山田領事時局談

立枯か續出して 溫州蜜柑の前途に暗影

宜蘭郡下の當業者大いに困惑

豐原神社



意外！新發見

"芭蕉の實"から

よい石鹼が出來る

大會社を近く創設して

本格的製造に著手

臺灣的氣候風土に適した 國立公園内に 嵐山溫泉を編入

新竹州當局から申請

空米賭博に求刑

一審通り四名に罰金

客車内の現金は 泥棒の仕業と判明

新築成つた 新營驛落成式

二十六日盛大に行はる

甘蔗畑燃ゆ

原因は弄火

臨海道路の御旅行は 斯の如く安全な 東海バスで

糖尿病…

特に輕症乃至中等症患者の常時適用劑として、現今最も廣く賞用さるる……內用インシュリン臍汁製劑

ランゲリン

月出精神、快食旺盛、寒往じて、酒に酔ふを覺せしむ

月經

今や絶好の機會

參拾萬臺製作紀念傳宣

集募店賣取次

定價金拾八圓

附品贈呈

百聞は一見にしかず現品御覽下さい御申込次第店員參上

臺北市榮町一ノ一番地

オールリードミシン工場

販賣部出張所

面白いから 安いから 賣れる！

百號記念の大懸賞付評書で賣れる〳〵評判は評判を生んで到る處笹ひ合ひ！

名小說！名講談！名落語！

大傑作 三十篇

四大懸賞—名案口繪—外澤山！

面白い〳〵

痛快づくめ 愉快づくめ

六百六十頁—日本一の大册

大奉仕六十錢

三日月

（さんじつよみうり）

報知

全部讀切！

日本人の智慧袋は西洋人よりも勝れてる

腦髓から觀た地球人の今昔

「頭腦」といふものは一本の手足の如く眼に見えるものでもなければ、解剖して見せることも出來ないから、人體の中でも最も解り難いものの一つである。

それだけに古來から人體の中で最も神秘的なものとされてゐるが、今から五十萬年以上の昔、人類がまだ地球上に生れ出たばかりの頃は、その頭腦の容積は僅かに現代人の半分位しかなかつたピテカントロプス・エレクトス（原始人）ネアンデルタール（原始人五萬年前）クロマニヨン（現代人の祖）ヘイデルベルヒ（現代猿人）ニーヤンアルプル（原始人）ピルトダウン（現代人）アシアンアルプル（原始人）オーストラリア土人（現代）

（一四〇）　（一四〇）　（一四〇）　（一四〇）　（一四〇）　（一四〇）

と、次第に腦髓の容積が大きくなつて來てゐるが、腦髓の發達は容積の大きいといふ事にはならない。たゞ多くの腦髓者についてみると大體次の樣な事が言へる。

（一）腦の大きい子は利口だといふ點は、腦髓の容積が大であるといふ事よりは寧ろ腦の組織が複雜であるといふ事の方が必要であるが、何れにせよ腦髓の發達のより大きい事は人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（四十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（四十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（四十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（四十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（四十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（四十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（四十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（四十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（四十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（四十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（五十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（五十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（五十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（五十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（五十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（五十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（五十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（五十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（五十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（五十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（六十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（六十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（六十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（六十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（六十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（六十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（六十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（六十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（六十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（六十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（七十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（七十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（七十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（七十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（七十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（七十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（七十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（七十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（七十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（七十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（八十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（八十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（八十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（八十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（八十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（八十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（八十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（八十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（八十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（八十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（九十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（九十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（九十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（九十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（九十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（九十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（九十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（九十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（九十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（九十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百二十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百二十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百二十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百二十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百二十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百二十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百二十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百二十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百二十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百二十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百三十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百三十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百三十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百三十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百三十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百三十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百三十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百三十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百三十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百三十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百四十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百四十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百四十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百四十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百四十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百四十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百四十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百四十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百四十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百四十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百五十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百五十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百五十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百五十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百五十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百五十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百五十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百五十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百五十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百五十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百六十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百六十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百六十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百六十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百六十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百六十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百六十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百六十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百六十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百六十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百七十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百七十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百七十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百七十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百七十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百七十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百七十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百七十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百七十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百七十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百八十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百八十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百八十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百八十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百八十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百八十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百八十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百八十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百八十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百八十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百九十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百九十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百九十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百九十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百九十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百九十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百九十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百九十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百九十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（百九十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百二十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百二十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百二十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百二十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百二十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百二十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百二十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百二十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百二十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百二十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百三十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百三十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百三十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百三十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百三十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百三十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百三十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百三十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百三十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百三十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百四十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百四十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百四十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百四十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百四十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百四十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百四十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百四十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百四十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百四十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百五十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百五十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百五十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百五十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百五十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百五十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百五十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百五十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百五十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百五十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百六十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百六十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百六十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百六十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百六十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百六十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百六十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百六十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百六十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百六十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百七十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百七十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百七十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百七十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百七十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百七十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百七十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百七十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百七十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百七十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百八十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百八十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百八十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百八十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百八十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百八十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百八十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百八十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百八十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百八十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百九十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百九十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百九十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百九十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百九十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百九十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百九十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百九十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百九十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（二百九十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百十五）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百十六）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百十七）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百十八）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百十九）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百二十）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百二十一）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

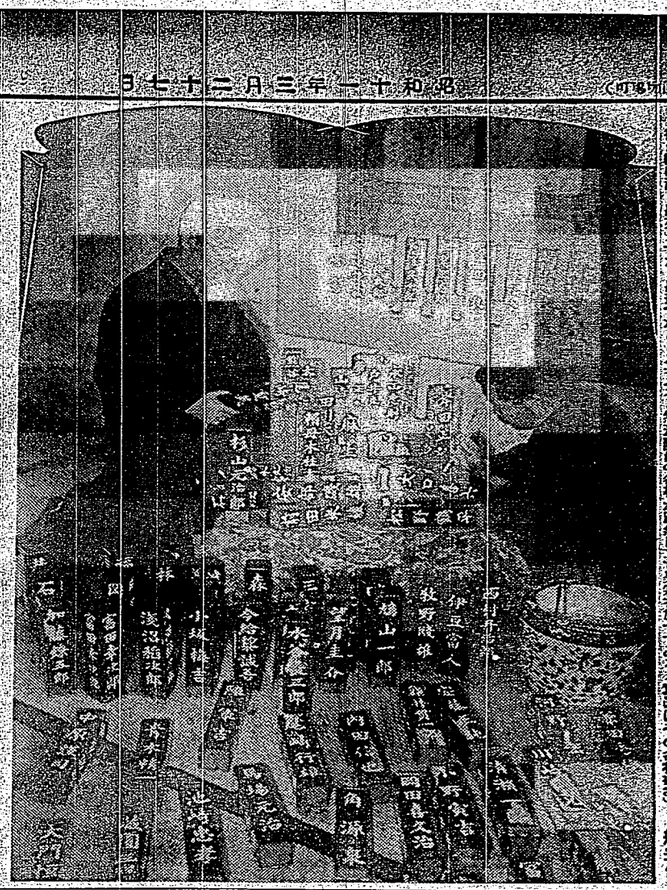
（三百二十二）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百二十三）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

（三百二十四）腦髓の發達は、人類發生の初めから眼で、智能も亦それに正比例してゐる事は確かである。

多くなった無産議員の名札

いよ〳〵來る五月一日より三週間特別國勢調査の施行されることとなつたが、これがため、國民各自の戸口に關する調査票が配布されており、すでに各家庭の主人の手によつて記入されつゝある。この調査票の配布に當つては、各町内會長、隣保班長等が手分けして一軒一軒を訪問して、記入上の注意を與へるとともに、記入後の調査票の回收に當つてゐるが、この際、各家庭の門口に掲げる名札は、日本國内の某大工場で製作中であつたが、當局側も一種の公衆を見たので去る十五日から晩よりの能率を擧げて、漸く出來上つた、出揃つたところをみると無産議員の名札が非常に目ぢ多くを占めてゐる（寫眞はその名札書き）―航空便



ソ軍若し挑戰せば
我れ斷乎反擊せん
朝鮮軍司令部が發表

【京城二十六日發至急報】朝鮮軍司令部二十六日正午發表

二十五日午前八時十分頃琿春縣東南方約四里長嶺子附近ソ滿國境を占據しありし數十名のソ聯軍は俗も同地附近巡回中なりし我軍將校以下九名に對し突如狙撃を開始せるため我も亦已むなく應戰し爾後彼我共に逐次兵員を增加して相對時しあり、軍はこれより事態の擴大を欲せず平和的解決の歩を進めあるも彼若し挑戰的攻勢に出でなば斷乎之を彈壓すべく諸般の準備を整へあり

偽手紙で呼び出し
留守を荒した老賊
南署の手で捕はる

全島に其の名を知られた有名な老盜賊が遂捕された　去る二十三日午後七時頃麻布市兵衛町二丁目三五七番地代議士四郎兵衛方の玄關に、後に人力車を隣へ一通の手紙を殘へた小柄な老人が「是の者ですが」と云つて現はれた御當家に參作ら是非拜聞の上御高誠を傾聽致し度く他に二、三の知己へ來臨致し居り即刻人力車を差し向け御參來を相待ち申し候條御面談の上　草々　麻北警察署長代理某」と書いて署名して其の手紙を受取つた代議士四郎兵衛氏は何の疑念も抱かず件の男の云ふがまゝに流石に

町日本亭へ車を馳つた、が、待ねる人は現つて遂につまれず徒ひで歸宅して見ると玄關の格子窓が破られ室内は滅茶苦茶に荒されて居り、目出度く千圓許りの金が盜まれて居る、目出度より所轄南署で全部の島に手配す

牢獄で暮した
彼の暗い半生
惡びれもせず過去を語る

牛生を牢獄で送つたさすが老盜に似ず何ら惡びれた面を伏せて包まず其の過去を語つた

人他により昨年二月出獄した殺人强盜犯人住所不定前科十三犯井口郁次（この仕事と目星を付け同日未足で眞夜中の一時頃）持つて　我の某料理店へ入り込んだに行き表び墓北へ表び查を受けるうち二十四日朝裏起山某古物商方から「前日盜られた品物の一部が出た」との通知があつたので出頭したところ、同人を警察署に留置四郎兵衛氏が直ぐ取調べたが同人は前科者の外絶十回以上の常習犯人の供述から「自分の盜品を盜んで居る筈を自白した（寫眞は老盜）

廣田外相より
ユ駐日大使に抗議
長嶺子事件に關し

【東京二十六日發】二十六日の閣議に於て廣田外相より長嶺子事件に關し左の如き報告があつた

外務當局發表　廣田外務大臣は去る二月二十日朝ソ聯大使と會見し長嶺子事件に關し從來の經過に鑑み、今回の事件は明かに國境警備隊の越境に基因するものにして、ソ聯側に於て嚴重取締ると共に、今後斯かる事件の發生を防止する爲適當の措置を講ずべき旨嚴重申入れたるに對し、ソ聯大使より、同事件は國境警備隊の越境に基因するものにして、ソ聯側に於ても

全國官長御哀悼中

北白川宮大妃殿下
御靈長鎭豐島岡

東京二十六日電。故北白川宮能久親王妃富子殿下。去二十日。葬於葉山一色御別邸。御葬儀。二十六日在豐島岡葬場。正儀執行。故大妃殿下御靈柩。長鎭於豐島岡故能久親王御墓所附近。此日東京市內。豐多摩郡到處。宿翻弔旗。以表哀悼之意。日午前五時。葬儀殿內正殿。奉行柩前祭。御靈柩。同八時五十分。靈北御新殿。一中隊所護。霜靜而發。到小石川護國寺近隣御墓所豐島岡葬場。廣田首相。以下來閣僚。平沼。荒井樞府正副議長。竝外國大公使數百名參列。御葬主宮殿下。豐各皇族殿下。祈禱御天臨中。御欽送云。

實行豫算施行
勅令公布

東京二十六日電。二十六日官報。關昭和十一年度實行豫算。公布勅令如左。

廢戒嚴令。

昭和十一年三月二十五日

內閣總理大臣　岡田啓介

臨時地方長官會議
首相暨四閣僚訓示

東京二十六日電。現內閣最初地方長官會議。在二二六事件後。滿一月之二十六日。在首相官邸。午後一時半開之。其列席者。佐上北海道長官。槇山東京府知事。以上道三府四十二縣長官。竝石田警視總監。中島憲兵司令官。政府廣川首相。及來閣僚（川崎商相缺席）。樺沼書記官長。吉田內務次官。大田內務長官等。總員百餘名。廣田首相訓示後。馬場藏相。寺內陸相。林法相。各有訓示。一旦會議畢。同四時三十分。在內務省。各有關內相訓示。安井戒嚴司令部參謀長。說明二二六事件。內務省會議後。地方長官。同六時起。齋藤首相官邸。廣田首相。主催晚餐會。會議二十六日二日告終云。

高橋前藏相本葬
宛然如國民葬

一般告別式燒香萬餘人

東京二十六日電。爲二二六事件責重犧牲。如前藏相故高橋是清翁本葬。二十六日午後零時半。在築地本願寺本堂。佛式執行。午前十時。赤坂表町高橋邸品川區大崎町。喪主是賢夫妻。以下遺族親族。山本會長以下舊僚知己。在家舉式。後從別。同十時半出棺。正午到齋場。靈柩安置本堂內陣。飾以勳章及大禮服之寫眞。大勳位菊花大綬章。天皇。皇后皇太后二陛下。豐各宮家御賜生花。各方面所贈一千花環。午後零時半。總持寺貫主伊藤道海師。爲大導

新海軍々縮條約
英米其他簽印畢

倫敦二十五日電。新海軍々縮條約簽印式。二十五日午後四時十五分（倫敦時刻二十六日午前一時十五分）在聖德森宮殿女王間舉行。女西議長開會辭。列米國代表。其他各國代表演說。同五時十分條約簽印。伊美國外相。同五時四分。亦入簽印。簽印自米國。及各後印國。俱用法國語云。

俄軍不法射擊
日滿軍同應戰

陸軍省將情發表

東京二十六日電通至急報。陸軍省發表。（二十六日）

如左。

昨二月二十五日午前九時頃。孫奉東南方。約四里兩俄國境長嶺子附近。滿洲國領土內。我軍將校以下九名。塔形偵察中。突爲俄兵不法射擊。爲自衛

臺北市臨時利得稅
年納千圓以上者
本島人商人僅四名

東京二十六日電。二十六日官報。關昭和十一年度預金部預金利率降下。大藏省告示第七號。以省令第七號改正預金部預金辦理規定如左。

一、照法律勅令現金預金之資入。只限定預金部之資金。（貸與預金（貸與特別會計預金）利率。從來一分五厘。今後改爲二分一、公共團體以外法人。預金利率。貸爲貯銀行）從來年一分。今後改爲七厘五毛。

訂來四月一日施行。此在高橋前藏相時代。既決定方針。此回照馬場藏相低金利政策誘導方針。急速實現。今後低金利促進之一助。又刻下標準。大體置於市中銀行之常座預金利率。又預金部。開十一年度豫算一般會計預金利率。年一分五厘。今後亦擬降爲七厘五毛。

預金部預金
辦法改正
利率降下

東京二十六日電。大藏省決。則費村問題不進展。如米國法案。無所變更。提案不須延期。肥料法幾分修正。目下商工省方進行中。表明三法案有提案之意。是故米穀自治管理法案。並釀酒處理統制法案。照前農相時代之案。稱肥料三法案。如不解決。則費村問題不進展。如米國法案。無所變更。提案不須延期。肥料法幾分修正。目下商工省方進行中。表明三法案有提案之意。是故米穀自治管理法案。並釀酒處理統制法案。照前農相時代之案。稱肥料三法案。如不解決。則費村問題不進展。

臺北市臨時利得稅
年納千圓以上者
本島人商人僅四名

東京二十六日電。二十六日官報。關昭和十一年度實行豫算。公布勅令如左。

廢戒嚴令。

昭和十一年三月二十五日

內閣總理大臣　岡田啓介

臨時地方長官會議
首相暨四閣僚訓示

東京二十六日電。現內閣最初地方長官會議。在二二六事件後。滿一月之二十六日。在首相官邸。午後一時半開之。其列席者。佐上北海道長官。槇山東京府知事。以上道三府四十二縣長官。竝石田警視總監。中島憲兵司令官。政府廣川首相。及來閣僚（川崎商相缺席）。樺沼書記官長。吉田內務次官。大田內務長官等。總員百餘名。廣田首相訓示後。馬場藏相。寺內陸相。林法相。各有訓示。一旦會議畢。同四時三十分。在內務省。各有關內相訓示。安井戒嚴司令部參謀長。說明二二六事件。內務省會議後。地方長官。同六時起。齋藤首相官邸。廣田首相。主催晚餐會。會議二十六日二日告終云。

高橋前藏相本葬
宛然如國民葬

一般告別式燒香萬餘人

東京二十六日電。爲二二六事件責重犧牲。如前藏相故高橋是清翁本葬。二十六日午後零時半。在築地本願寺本堂。佛式執行。午前十時。赤坂表町高橋邸品川區大崎町。喪主是賢夫妻。以下遺族親族。山本會長以下舊僚知己。在家舉式。後從別。同十時半出棺。正午到齋場。靈柩安置本堂內陣。飾以勳章及大禮服之寫眞。大勳位菊花大綬章。天皇。皇后皇太后二陛下。豐各宮家御賜生花。各方面所贈一千花環。午後零時半。總持寺貫主伊藤道海師。爲大導

新海軍々縮條約
英米其他簽印畢

倫敦二十五日電。新海軍々縮條約簽印式。二十五日午後四時十五分（倫敦時刻二十六日午前一時十五分）在聖德森宮殿女王間舉行。女西議長開會辭。列米國代表。其他各國代表演說。同五時十分條約簽印。伊美國外相。同五時四分。亦入簽印。簽印自米國。及各後印國。俱用法國語云。

俄軍不法射擊
日滿軍同應戰

陸軍省將情發表

東京二十六日電通至急報。陸軍省發表。（二十六日）

如左。

昨二月二十五日午前九時頃。孫奉東南方。約四里兩俄國境長嶺子附近。滿洲國領土內。我軍將校以下九名。塔形偵察中。突爲俄兵不法射擊。爲自衛

中等學校
考試完了
合格發表期

全島中等學校考試。自去二十五日。本年受試者。羅馬缺席甚少。故出席率甚佳。二中。二商。商業。工業已發表。台二。二中。二商。商業。工業。口頭試驗。受驗格優者。即日發表。其餘至二十六日。口頭試驗。受驗格優者。即日發表。其餘至二十六日。

新船香港丸
廿五日竣功

商船會社新造中香港丸。二千八百噸。將就航于基隆。香港線。去二十五日。引交船會社。翌二十六日。開向臺灣。現搬入食糧其他。閑談船裝飾。極美麗。且用防彈玻璃等。以備海賊云。

彼若再挑戰
斷然彈壓之

朝鮮軍司令部發表

京城二十六日電至急報。朝鮮軍司令部。二十六日正午發表如左。

二十五日午前八時十分頃。孫奉縣東南方。約四里長嶺子附近。有俄軍數十名。占據俄滿國境。我軍將校以下九名。派遣地附近巡回中。突爲狙擊。我軍亦應戰。爾後彼此漸兵相對峙。但軍不欲事態擴大而欲平和解決。彼若再品挑戰的攻勢。斷然彈壓。

米穀法案
特別議會提案

東京二十四日本社特電。

計。不得已應戰。然避事態擴大。退避於約一千米後方。俄兵反全猛射急追。致我將校以下數名損害。我軍乃派數十名往救。與國境監視隊。同聲戰中。午後四時四十分。俄軍又以優勢兵力。再行射擊。又不得不應戰。夜中止。俄軍退於長嶺子北方地區。我軍亦撤戰線。集結後方。我軍將校一。下士官一。兵五。滿洲軍將校一。兵二負傷云。

中國船劉通號
濃霧巨濤
致挫洲香山海

既報中國汽船劉通號（二千噸）。日前挫洲于新竹州香山近海。以自力離開。駛向基隆。至二十五日正午。第一報。該船于午前十時。在香山近海。觸礁。船底破損。浸水甚烈。急電基隆。請救援。基隆方面。即派出救援船。駛往現場。該船乘客及船員。已全部移乘救援船。安全抵基隆。

飛機空襲基隆市
砲兵隊極力防禦
廿六日兩隊連合操演

基隆全體防衛。連合演習。廿六日午前。在基隆要塞地帶。實施空襲演習。是日午前八時半頃。飛機二機編隊。猛衝來襲。現于西方空中。旋回市上空。次。一面重砲兵大隊。配置聽音器。於旭丘大砲營。與高射機關銃隊。高射砲陣地連絡。一齊射擊。十一時頃終了。

島都空中
實演飛行祕術

第八聯隊戰闘機二機。去二十六日午前。爲欲參加基隆連合演習。由松山飛行場。比叛上空。向基隆而去。此外六機。於是日九時起。至二時間餘。實施單機戰闘訓練。每回二機。在島都空中。實演高等飛行術云。

親家變成寃家
出於懷孕風說

臺南州十六郡莿桐庄甘厝人莊城之弟莊坤。自昨年娶同庄人林某之次女爲妻。大婦初莊相得。最近聞風評說女未入莊門。已懷孕。望取締木村巡查。向丈夫佐證。發表郡下養豬者。際此處女航。再派岡山本社記者。經去二十三日。赴內地。訂來二十八日午前八時（內地時間）。（臺灣時間）。搭乘分。

臺灣日日新報社
移住完了

花蓮港蕃人

花蓮港廳理蕃係。自昭和八年末。使玉里支廳下奥萬榮駐在所。建設蕃人移住地。以來。經二年餘之今日。全部移住完了。

萬里庄海岸
帆船坐礁
三船員失踪

基隆郡瑞芳庄下罔里加投子八十八九之海岸。去二十五日午前零時頃。有自溫州赴基隆帆行中華船王進興號。爲風浪坐礁。船體大破。乘組員十六名中。十三名泅泳海岸過救。其餘三名失踪。目下搜查。該船損害。載貨二

壹岐丸缺航
歸北延期

柳川軍司令官。爲巡視澎湖島部隊。時機閣。僧狀洲參謀長外各幕僚。日前搭汕。馬公高雄間便輪一岐丸缺航。該丸定二十六日歸北。嗣因

柳川司令官
開招待會

柳川軍司令官。去二十五日午後四時半。在馬公官舍。及木幡參謀長。入保防備隊司令。外各幕僚。與要塞司令官。暨候井大隊長。嘉元艦長。二浦街長等。其他各地重要官民。開茶話會。首由軍司令官敘禮。次福元艦長消謝。至五時半四散。

食鹽賣捌人更新期
八十二區改減七區
八十二名中更新約三成

專賣局食鹽賣捌人指定更。及附議事項如左。

一、十二年度收支豫算件。一、報告事業概況。一、理事補缺推薦件。又同協會。以總會機會。年產五六千萬斤。收入二千萬圓左右。而本年期產。然因各地之暴風。且其後天候不順。遂至減收約二成。重以原料鹽度。比前年期。異常稀薄。因而對收入豫想額。減收約六萬圓。然因農民。以蔗作爲專業。故其受打擊殊巨。間有殆不能營生者。而村民以爲事關一村安危之重大。

臺灣畜產協
通常總會

附議事項四件

臺灣畜產協會。訂來二十八日午前十時。假臺北市明石町警察會館。開第四回通常總會。其報告事項如左。

一、十二年度收支豫算件。一、報告事業概況。一、理事補缺推薦件。又同協會。以總會機會。年產五六千萬斤。收入二千萬圓左右。而本年期產。然因各地之暴風。且其後天候不順。遂至減收約二成。重以原料鹽度。比前年期。異常稀薄。因而對收入豫想額。減收約六萬圓。然因農民。以蔗作爲專業。故其受打擊殊巨。間有殆不能營生者。而村民以爲事關一村安危之重大。

因盜破獲賭案

嘉義郡中埔庄社口人高金

厦門市白米
最近漸昂
市民生活不安

（厦門本社特置員發）厦門市白米。從來每百斤售六元。最近漸昂。毛半八元。五十仙。市民生活。咸感脅威。其原因。爲奥地減收。及香港米價漸昂關係。且米穀商。爲得厚利。種種策動。故市政府。設米穀評價委員會。以防止高騰。諸元對策云。

因蔗作收減
豐田村民打擊
求廢濃度制度

花蓮港豐田村。農民百十戶。大部分以蔗作爲生業。年產五六千萬斤。收入二千萬圓左右。而本年期產。然因各地之暴風。且其後天候不順。遂至減收約二成。重以原料鹽度。比前年期。異常稀薄。因而對收入豫想額。減收約六萬圓。然因農民。以蔗作爲專業。故其受打擊殊巨。間有殆不能營生者。而村民以爲事關一村安危之重大。

厦門烏釘團
已晦踪跡
脅迫狀盛發

（厦門本社特置員發）去二十五日午前八時四十分。在鼓浪嶼內厝澳。有鈴國帝品。有長久銷路及信用。二、使用簡便。效果顯著。三、無毒。無刺激。可安心使用。四、價格低廉。

濕布劑之選擇
特推奨エキホス理由

一、エキホス國帝品。有長久銷路及信用。二、使用簡便。效果顯著。三、無毒。無刺激。可安心使用。四、價格低廉。